

水産基盤施設ストックマネジメントのためのガイドライン

正誤表

ページ番号	誤	正
p. 7	1.5 用語の定義 本ガイドラインでは、次のとおり用語を定義する。 ・ストックマネジメント：施設の有効利用と更新コストの縮減対策の推進を図るために、既存施設を対象とした施設の長寿命化やＬＣＣの縮減並びに対策コストの平準化を目的とした維持管理手法。なお、本ガイドラインでは、既存施設のみならず、新たに整備された施設の管理にも適用する。 ・予防保全：施設の老朽化が進行し施設の有する性能が要求性能を下回ることがない早期の段階で予防的な対策を講じること。 ・事後保全：施設の老朽化が進行し施設の有する性能が要求性能を下回る（又は下回った）可能性がある段階で対策を講じること。 ・改良：既存施設に対して形状、材質、構造等の変更を加えることにより、施設の要求性能を向上させることや新たな要求性能を追加すること。 ・ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）：施設の企画設計段階、建設段階、管理運用段階（点検を含む）及び廃棄処分段階における施設の供用期間に生じる総費用。ただし、機能保全対策の検討におけるＬＣＣ算定では、施設の企画設計段階、建設段階（初期）及び廃棄処分段階の経費は除く。 ・機能保全計画：管理者等の統一的な管理方針に沿って作成された水産基盤施設に係る維持管理のための計画。 ・機能保全方針：対象とする施設の機能保全における基本的な考え方。 ・機能保全レベル：機能保全方針において設定する維持管理の水準。 ・要求性能：水産基盤施設が目的を達成するために必要とされる性能。なお、水産基盤施設においては基本要求性能（利用性、構造物の安全性）と付加要求性能（維持管理性、環境性）がある。 ・点検：定期点検、日常点検、臨時点検の総称であり、老朽化の状況を把握するため行う行為のこと。 ・機能診断：簡易調査や詳細調査、日常点検等の結果を踏まえた老朽化度及び健全度の評価、老朽化要因の特定等と機能保全対策の必要性について検討すること。 ・簡易調査（簡易項目）：目視により老朽化の有無を確認する調査。 ・簡易調査（重点項目）：目視又は計測により老朽化の規模や程度を確認する調査。 ・詳細調査：健全度の評価結果の検証、老朽化の要因の特定や老朽化予測に必要なデータを収集するために実施する調査。 ・潜水目視調査：簡易潜水目視調査と詳細潜水目視調査の総称 ・簡易潜水目視調査：構造物の状況を概略的に確認する潜水目視調査。評価基準に基づく老朽化度判定（a・b 判定に相当する変状の確認）を行うと同時に、詳細潜水目視調査が必要な箇所の抽出も行う。 ・詳細潜水目視調査：スケール等の計測機器を用いて老朽化要因の特定等の調査を行う潜水目視調査。 ・踏査：施設の要求性能に影響を及ぼすような新たな変状箇所の発見を目的とし、陸上目視にて施設全体の変状の有無を確認する。 ・老朽化：経年変化等の要因で発生した「移動」、「沈下」、「劣化」や「損傷」により施設や部材の性能が低下すること。 ・老朽化度：部材の性能低下の程度を表す指標。なお、本ガイドラインでは、a, b, c, d の４段階で評価することを基本とする。 ・健全度：施設としての総合的な性能低下の程度を老朽化度等から総合的に評価する指標。なお、本ガイドラインでは、施設ごとに A, B, C, D の４段階で評価することを基本とする。 ・安全性に及ぼす影響度：部材の老朽化が施設の安全性に及ぼす影響度合を表す指標。なお、本ガイドラインでは、Ⅰ, Ⅱ, Ⅲの３段階で評価することを基本とする。 ・老朽化予測：施設の構造形式や老朽化の程度と進行速度を踏まえ、老朽化が所要の機能保全レベルを下回る時期の推定（進行予測）等を行うこと。 ・ＬＣＣ算定期間：ＬＣＣを算定する対象期間であり、供用期間を踏まえ設定することを基本とする。 ・機能保全計画の更新：点検・診断や機能保全対策等の実施に伴い、既存の機能保全計画書の内容を見直し、必要に応じて内容を変更すること。なお、計画書を見直した結果、変更がない場合でも、見直したことを記録（履歴等を追記）することを含めて更新として扱うものとする。	1.5 用語の定義 本ガイドラインでは、次のとおり用語を定義する。 ・ストックマネジメント：施設の有効利用と更新コストの縮減対策の推進を図るために、既存施設を対象とした施設の長寿命化やＬＣＣの縮減並びに対策コストの平準化を目的とした維持管理手法。なお、本ガイドラインでは、既存施設のみならず、新たに整備された施設の管理にも適用する。 ・予防保全：施設の老朽化が進行し施設の有する性能が要求性能を下回ることがない早期の段階で予防的な対策を講じること。 ・事後保全：施設の老朽化が進行し施設の有する性能が要求性能を下回る（又は下回った）可能性がある段階で対策を講じること。 ・改良：既存施設に対して形状、材質、構造等の変更を加えることにより、施設の要求性能を向上させることや新たな要求性能を追加すること。 ・ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）：施設の企画設計段階、建設段階、管理運用段階（点検を含む）及び廃棄処分段階における施設の供用期間に生じる総費用。ただし、機能保全対策の検討におけるＬＣＣ算定では、施設の企画設計段階、建設段階（初期）及び廃棄処分段階の経費は除く。 ・機能保全計画：管理者等の統一的な管理方針に沿って作成された水産基盤施設に係る維持管理のための計画。 ・機能保全方針：対象とする施設の機能保全における基本的な考え方。 ・機能保全レベル：機能保全方針において設定する維持管理の水準。 ・要求性能：水産基盤施設が目的を達成するために必要とされる性能。なお、水産基盤施設においては基本要求性能（利用性、構造物の安全性）と付加要求性能（維持管理性、環境性）がある。 ・点検：定期点検、日常点検、臨時点検の総称であり、老朽化の状況を把握するため行う行為のこと。 ・機能診断：簡易調査や詳細調査を実施し、これらの調査結果を踏まえた老朽化度及び健全度の評価、並びに老朽化要因の特定等と機能保全対策の必要性について検討すること。 ・簡易調査（簡易項目）：目視により老朽化の有無を確認する調査。 ・簡易調査（重点項目）：目視又は計測により老朽化の規模や程度を確認する調査。 ・詳細調査：健全度の評価結果の検証、老朽化の要因の特定や老朽化予測に必要なデータを収集するために実施する調査。 ・潜水目視調査：簡易潜水目視調査と詳細潜水目視調査の総称 ・簡易潜水目視調査：構造物の状況を概略的に確認する潜水目視調査。評価基準に基づく老朽化度判定（a・b 判定に相当する変状の確認）を行うと同時に、詳細潜水目視調査が必要な箇所の抽出も行う。 ・詳細潜水目視調査：スケール等の計測機器を用いて老朽化要因の特定等の調査を行う潜水目視調査。 ・踏査：施設の要求性能に影響を及ぼすような新たな変状箇所の発見を目的とし、陸上目視にて施設全体の変状の有無を確認する。 ・老朽化：経年変化等の要因で発生した「移動」、「沈下」、「劣化」や「損傷」により施設や部材の性能が低下すること。 ・老朽化度：部材の性能低下の程度を表す指標。なお、本ガイドラインでは、a, b, c, d の４段階で評価することを基本とする。 ・健全度：施設としての総合的な性能低下の程度を老朽化度等から総合的に評価する指標。なお、本ガイドラインでは、施設ごとに A, B, C, D の４段階で評価することを基本とする。 ・安全性に及ぼす影響度：部材の老朽化が施設の安全性に及ぼす影響度合を表す指標。なお、本ガイドラインでは、Ⅰ, Ⅱ, Ⅲの３段階で評価することを基本とする。 ・老朽化予測：施設の構造形式や老朽化の程度と進行速度を踏まえ、老朽化が所要の機能保全レベルを下回る時期の推定（進行予測）等を行うこと。 ・ＬＣＣ算定期間：ＬＣＣを算定する対象期間であり、供用期間を踏まえ設定することを基本とする。 ・機能保全計画の更新：点検・診断や機能保全対策等の実施に伴い、既存の機能保全計画書の内容を見直し、必要に応じて内容を変更すること。なお、計画書を見直した結果、変更がない場合でも、見直したことを記録（履歴等を追記）することを含めて更新として扱うものとする。

ページ番号	誤	正
p. 10	2.2 水産基盤施設ストックマネジメントの実施概要 水産基盤施設ストックマネジメントは、①漁港等の概要整理、②機能保全方針の設定、③施設の現況把握、④日常管理計画に基づく点検、⑤機能診断の実施、⑥機能保全対策の検討、という一連の検討過程を経て、⑦機能保全計画の策定・更新を行い、計画的に⑧機能保全対策を実施する。点検又は機能保全対策の実施を通じて、⑨一連の施設情報を蓄積・活用して効率的な維持・管理を行うことが重要である。 【解説】 1. スtockマネジメントの実施項目 1) 漁港等の概要整理 漁港や漁場の施設の基本情報、港勢、自然、又は社会・環境条件や漁業以外の利用状況等や圏域総合水産基盤整備事業計画における位置付け等を取りまとめ、概要を整理する。 2) 機能保全方針の設定 機能保全の目的や意義、管理方針を総括的に取りまとめた機能保全方針を設定する。 3) 施設の現況把握 現存データとしての機能保全計画書、日常管理記録（定期点検、日常点検、及び臨時点検）に加え、漁港台帳、施設の補修・改良履歴、整備時の設計条件（安定計算書）や工事竣工検査結果等の関係資料を収集・整理し、対象施設における現況を把握する。 4) 日常管理計画に基づく点検 管理者等は、日常の維持管理として、定期点検、日常点検、及び臨時点検を行う。また、管理者等は、日常管理計画として各点検の内容及び頻度を適切に設定する。 5) 機能診断 日常管理計画に基づく点検で実施する簡易調査（重点項目）や詳細調査の実施、これら調査結果に基づく部材の老朽化度及び施設の健全度の評価、老朽化要因の特定、並びに評価結果の考察を踏まえた機能保全対策の必要性の判断を行う。 6) 機能保全対策の検討 施設の安全性、重要性、補修の難易度や実現性、効果の持続性、補修に係る費用等を勘案して、補修の方法や時期等を決定する。	2.2 スtockマネジメントの実施概要 水産基盤施設ストックマネジメントは、①漁港等の概要整理、②機能保全方針の設定、③施設の現況把握、④日常管理計画に基づく点検、⑤機能診断の実施、⑥機能保全対策の検討、という一連の検討過程を経て、⑦機能保全計画の策定・更新を行い、計画的に⑧機能保全対策を実施する。点検又は機能保全対策の実施を通じて、⑨一連の施設情報を蓄積・活用して効率的な維持・管理を行うことが重要である。 【解説】 1. スtockマネジメントの実施項目 1) 漁港等の概要整理 漁港や漁場の施設の基本情報、港勢、自然、又は社会・環境条件や漁業以外の利用状況等や圏域総合水産基盤整備事業計画における位置付け等を取りまとめ、概要を整理する。 2) 機能保全方針の設定 機能保全の目的や意義、管理方針を総括的に取りまとめた機能保全方針を設定する。 3) 施設の現況把握 現存データとしての機能保全計画書、日常管理記録（定期点検、日常点検、及び臨時点検）に加え、漁港台帳、施設の補修・改良履歴、整備時の設計条件（安定計算書）や工事竣工検査結果等の関係資料を収集・整理し、対象施設における現況を把握する。 4) 日常管理計画に基づく点検 管理者等は、日常の維持管理として、定期点検、日常点検、及び臨時点検を行う。また、管理者等は、日常管理計画として各点検の内容及び頻度を適切に設定する。 5) 機能診断 日常管理計画に基づく点検で実施する簡易調査や詳細調査の実施、これら調査結果に基づく部材の老朽化度及び施設の健全度の評価、老朽化要因の特定、並びに評価結果の考察を踏まえた機能保全対策の必要性の判断を行う。 6) 機能保全対策の検討 施設の安全性、重要性、補修の難易度や実現性、効果の持続性、補修に係る費用等を勘案して、補修の方法や時期等を決定する。

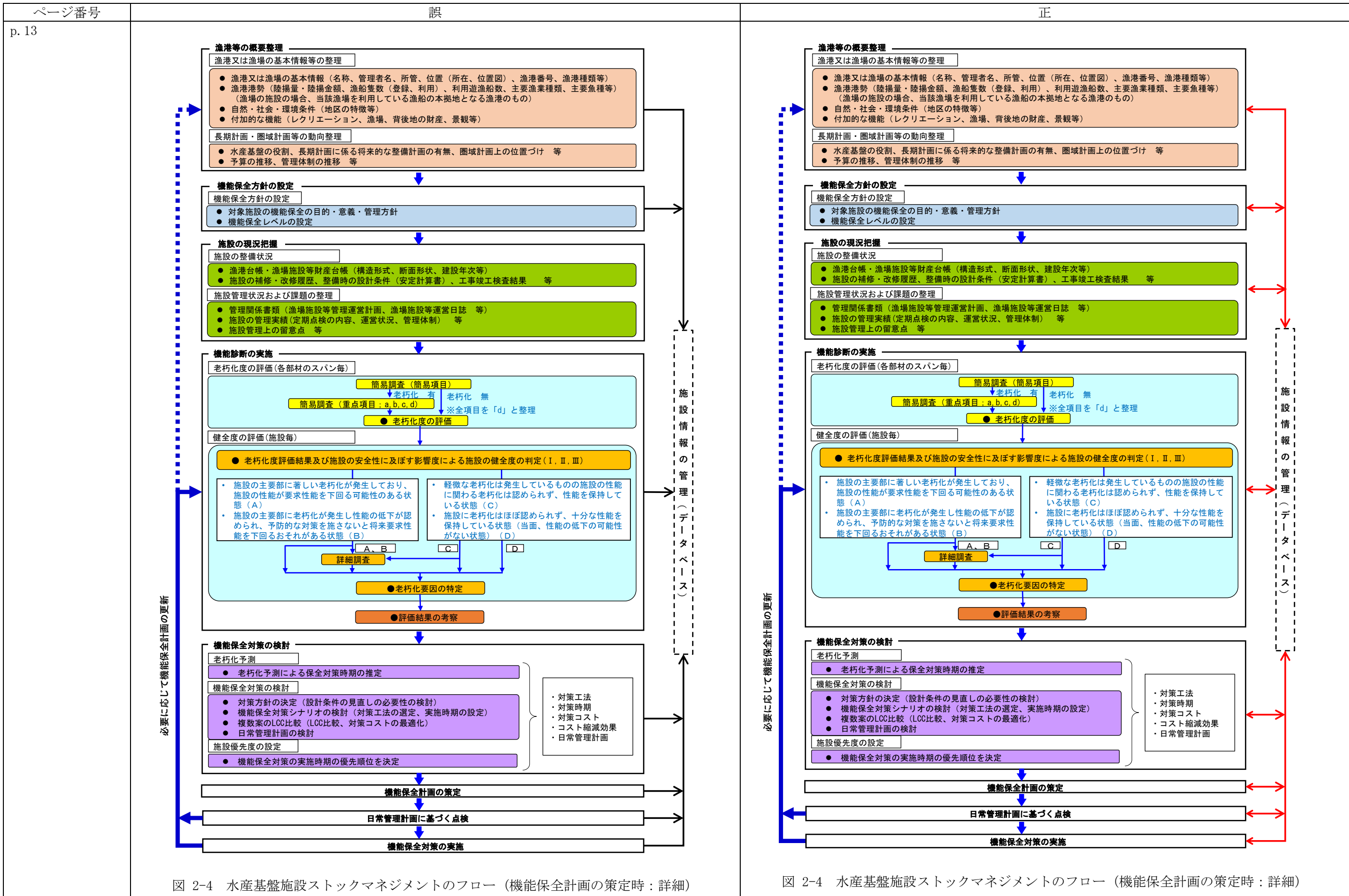
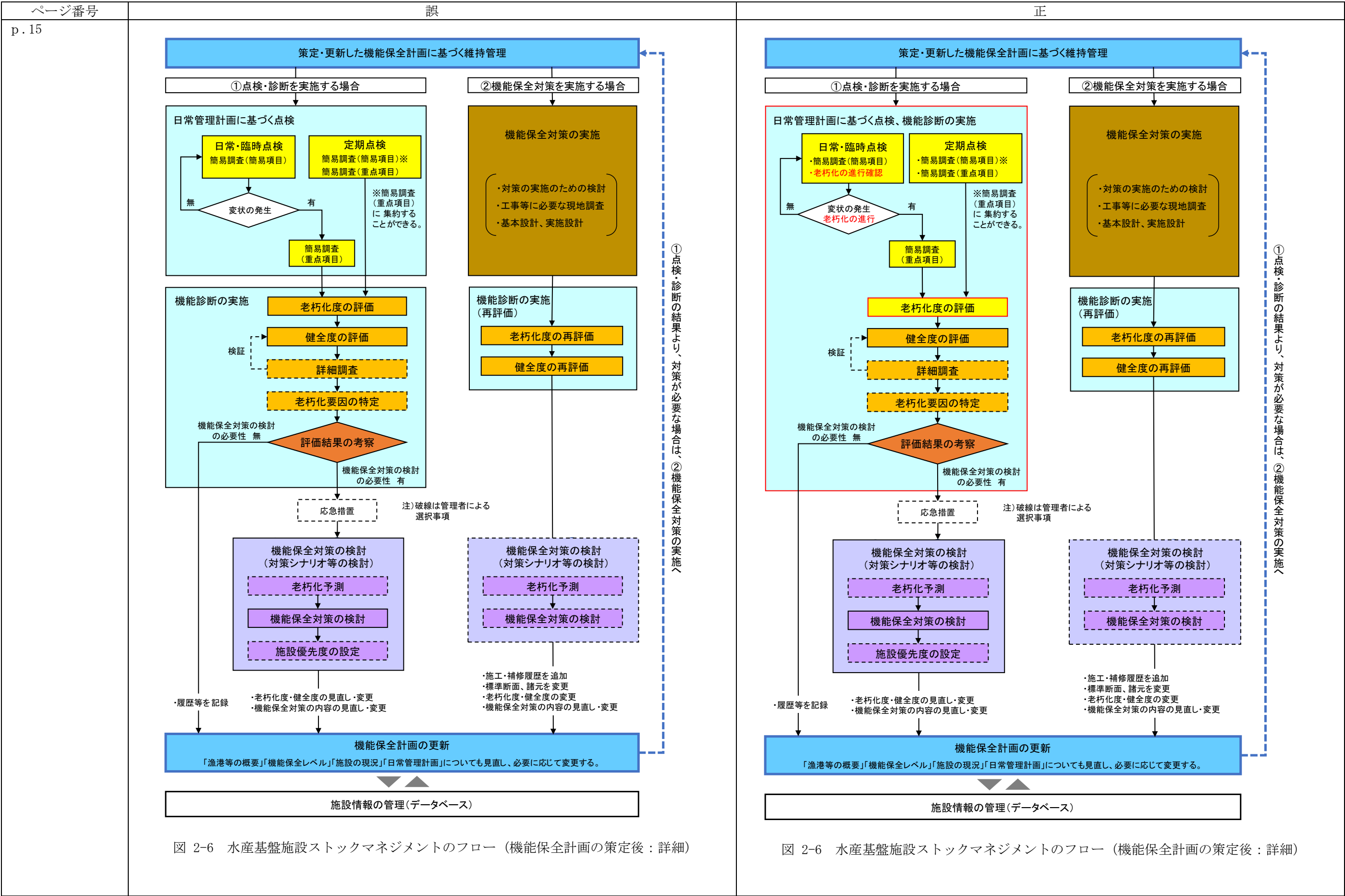


図 2-4 水産基盤施設ストックマネジメントのフロー（機能保全計画の策定時：詳細）

図 2-4 水産基盤施設ストックマネジメントのフロー（機能保全計画の策定時：詳細）



ページ番号	誤	正
p. 24	3.5 機能診断の実施 3.5.1 機能診断の概要 機能診断は、簡易調査等の実施、これら調査結果に基づく部材の老朽化度及び施設の健全度の評価、老朽化要因の特定、並びに評価結果の考察を踏まえた機能保全対策の必要性の判断を行うものである。 【解説】 1. 機能診断の手順 機能診断は、まず、簡易調査を実施し、部材の老朽化度を評価する。そのうえで施設の安全性に及ぼす影響度を踏まえて、施設の健全度を評価する。その後、必要に応じて、詳細調査や老朽化要因の特定を行い、これらの評価結果の考察を踏まえ、機能保全対策の必要性を判断するものである。 これらの機能診断フローは、図 3-2 に示すとおりである。 図 3-2 機能診断フロー	3.5 機能診断の実施 3.5.1 機能診断の概要 機能診断は、簡易調査等の実施、これら調査結果に基づく部材の老朽化度及び施設の健全度の評価、老朽化要因の特定、並びに評価結果の考察を踏まえた機能保全対策の必要性の判断を行うものである。 【解説】 1. 機能診断の手順 機能診断は、まず、簡易調査を実施し、部材の老朽化度を評価する。そのうえで施設の安全性に及ぼす影響度を踏まえて、施設の健全度を評価する。その後、必要に応じて、詳細調査や老朽化要因の特定を行い、これらの評価結果の考察を踏まえ、機能保全対策の必要性を判断するものである。 これらの機能診断フローは、図 3-2 に示すとおりである。 図 3-2 機能診断フロー

3.5 機能診断の実施

3.5.1 機能診断の概要

機能診断は、簡易調査等の実施、これら調査結果に基づく部材の老朽化度及び施設の健全度の評価、老朽化要因の特定、並びに評価結果の考察を踏まえた機能保全対策の必要性の判断を行うものである。

【解説】

1. 機能診断の手順

機能診断は、まず、簡易調査を実施し、部材の老朽化度を評価する。そのうえで施設の安全性に及ぼす影響度を踏まえて、施設の健全度を評価する。その後、必要に応じて、詳細調査や老朽化要因の特定を行い、これらの評価結果の考察を踏まえ、機能保全対策の必要性を判断するものである。

これらの機能診断フローは、図 3-2 に示すとおりである。

機能診断

点 検

評 価

実施単位(スパン割)の設定

↓

簡易調査(簡易項目)
老朽化の有無の確認 ※

↓

※日常・臨時点検で、変状の発生や
老朽化の進行が確認された場合

↓

簡易調査(重点項目)
老朽化の程度の把握

↓

老朽化度の評価
(a, b, c, d)

↓

施設の安全性に及ぼす
影響度(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ)の設定

↓

健全度の評価
(A, B, C, D)

↓

評価結果の考察

詳細調査
(必要に応じて実施)

↓

老朽化要因の特定
(必要に応じて実施)

検 証

→

→

機能保全対策の検討

↓

老朽化予測、対策工法の選定、対策実施時期の設定、LCC算定、施設優先度の設定

図 3-2 機能診断フロー

ページ番号	誤	正
p. 28	3.5.2 簡易調査 簡易調査は、目視による老朽化の有無や進行の確認、簡易な計測器による老朽化の程度を把握するために実施する。実施に当たっては、効率性、客観性を重視するとともに、調査コストの低減が見込まれる新技術の活用を検討することが望ましい。 【解説】 1. 簡易調査 簡易調査は、簡易調査（簡易項目）と簡易調査（重点項目）に分かれる。 簡易項目は、定期点検、日常点検、臨時点検に適用する。ただし、2 巡目以降の定期点検において、重点項目と一括して実施する場合には、簡易項目を省略することができる。 重点項目は、定期点検に適用するとともに、日常点検や臨時点検で大きな変状が確認された場合に適用する。 1) 簡易調査（簡易項目） 定期点検における簡易調査（簡易項目）は、調査の省力化のため、簡易調査（重点項目）が必要な箇所を選定するために行う（スクリーニング）。日常点検や臨時点検の場合、「点検マニュアル」（「第 4 章 日常点検」及び「第 5 章 臨時点検」を参照）に準じることを基本とする。 目視等（陸上）により、「移動」、「沈下」、「劣化」や「損傷」といった部材の変状（老朽化）の有無を確認（水域施設の場合、利用者への聴き取り等により水深の変化（老朽化）を確認）し、その結果に応じ、変状が確認された箇所について簡易調査（重点項目）を実施する。 変状が生じていない場合には、簡易調査（重点項目）を実施する必要はない。 2) 簡易調査（重点項目） 簡易調査（重点項目）は、部材の老朽化度を評価するために実施する。 目視（陸上及び海上）調査又はレッド等による簡易な水深計測等^注 から、把握可能な老朽化の状態を記録・整理する。特に、変状図は、老朽化の進展等の状況が確認できる重要な記録となるため、正確でわかりやすく作成することが望まれる。具体的な点検要領や記録方法は、「点検マニュアル」（「第 3 章 定期点検」を参照）に準じることを基本とする。	3.5.2 簡易調査 簡易調査は、目視による老朽化の有無や進行の確認、簡易な計測器による老朽化の程度を把握するために実施する。実施に当たっては、効率性、客観性を重視するとともに、調査コストの低減が見込まれる新技術の活用を検討することが望ましい。 【解説】 1. 簡易調査 簡易調査は、簡易調査（簡易項目）と簡易調査（重点項目）に分かれる。 簡易項目は、定期点検、日常点検、臨時点検に適用する。ただし、2 巡目以降の定期点検において、重点項目と一括して実施する場合には、簡易項目を省略することができる。 重点項目は、定期点検に適用するとともに、日常点検や臨時点検で変状の発生や老朽化の進行が確認された場合に適用する。 1) 簡易調査（簡易項目） 定期点検における簡易調査（簡易項目）は、調査の省力化のため、簡易調査（重点項目）が必要な箇所を選定するために行う（スクリーニング）。日常点検や臨時点検の場合、「点検マニュアル」（「第 4 章 日常点検」及び「第 5 章 臨時点検」を参照）に準じることを基本とする。 目視等（陸上）により、「移動」、「沈下」、「劣化」や「損傷」といった部材の変状（老朽化）の有無を確認（水域施設の場合、利用者への聴き取り等により水深の変化（老朽化）を確認）し、その結果に応じ、変状が確認された箇所について簡易調査（重点項目）を実施する。 変状が生じていない場合には、簡易調査（重点項目）を実施する必要はない。 2) 簡易調査（重点項目） 簡易調査（重点項目）は、部材の老朽化度を評価するために実施する。 目視（陸上及び海上）調査又はレッド等による簡易な水深計測等^注 から、把握可能な老朽化の状態を記録・整理する。特に、変状図は、老朽化の進展等の状況が確認できる重要な記録となるため、正確でわかりやすく作成することが望まれる。具体的な点検要領や記録方法は、「点検マニュアル」（「第 3 章 定期点検」を参照）に準じることを基本とする。

ページ番号	誤	正
p. 29	2. 簡易調査における水中部の確認 簡易調査は陸上及び海上での確認を基本とするが、水中ドローンや垂下式カメラ等の光学機器、及びナローマルチビームソナー等の音響機器により陸上及び海上から水中部の状況を潜水作業を要せずに確認することができるため、必要に応じて活用を検討することが望ましい。 3. 点検結果の記録 1) 記入様式 定期点検等で実施する簡易調査（重点項目）は、「手引き」の様式を用いるものとする。 日常点検及び臨時点検で実施する簡易調査（簡易項目）は、点検マニュアルに記載のある様式を用いることとする（「点検マニュアル 参考資料－E 日常点検記入シート及び記載例」を参照）。 2) 変状図の作成 定期点検等で作成する変状図は、C A D等で作成した平面図、側面図上に記載し、変状の位置と形状が把握しやすいように整理する（「点検マニュアル 3.2.2 変状図の作成」を参照）。 3) I C T技術の活用 点検結果の記録保存に「維持管理情報プラットフォーム」や「漁港施設の点検システム」を活用することができる（「3.9 施設情報の管理」を参照）。	2. 簡易調査における水中部の確認 簡易調査は陸上及び海上での確認を基本とするが、水中ドローンや垂下式カメラ等の光学機器、及びナローマルチビームソナー等の音響機器により陸上及び海上から水中部の状況を潜水作業を要せずに確認することができるため、必要に応じて活用を検討することが望ましい。 3. 点検結果の記録 1) 記入様式 定期点検で実施する簡易調査（簡易項目、重点項目）の記録は、「手引き」の様式を用いるものとする。ただし、簡易調査（簡易項目）の記録は、下記と同様に点検マニュアルに記載のある様式を用いてもよい。 日常点検及び臨時点検で実施する簡易調査（簡易項目）及び老朽化の進行の記録は、点検マニュアルに記載のある様式を用いることとする（「点検マニュアル 参考資料－E 日常点検記入シート及び記載例」を参照）。 2) 変状図の作成 定期点検等で作成する変状図は、C A D等で作成した平面図、側面図上に記載し、変状の位置と形状が把握しやすいように整理する（「点検マニュアル 3.2.2 変状図の作成」を参照）。 3) I C T技術の活用 点検結果の記録保存に「維持管理情報プラットフォーム」や「漁港施設の点検システム」を活用することができる（「3.9 施設情報の管理」を参照）。

ページ番号
参考資料－1－1
p. 参考 1-1-6

誤

③簡易調査（重点項目）の実施

【部材の老朽化度の評価】

○ 簡易項目により変状が確認されたスパン③、⑧、⑩及び⑪について、重点項目を実施する。

○ 「老朽化度評価基準」（様式 7 又は様式 7' ）に沿って、部材ごとに「a, b, c 又は d」の評価（老朽化度評価）を行う。

<スパン③の重点項目実施（老朽化度評価）結果の記入例>

対象施設	調査項目	調査方法	老朽化度の判断基準	判定結果	計測寸法（最大値）
重力式防波堤	施設全体	移 動	a 本体の一部がマウンドから外れている。	d	L＝
			b 隣接ケーソンとの間に側壁厚程度（40～50cm）のずれがある。		
			c 小規模な移動がある。		
			d 変状なし。		
	沈 下	目視 ・（目地ずれ）、段差	a 目視でも著しい沈下（1 m程度）が確認できる。	d	H＝
			b 隣接ケーソンとの間に数十cm程度の段差がある。		
			c 隣接ケーソンとの間に数cm程度の段差がある。		
			d 変状なし。		
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	a 護岸の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	b	L＝1, 000mm B＝20mm S＝
			レ b 幅1cm以上のひび割れがある。		
			c 小規模な欠損がある。		
			d 幅1cm未満のひび割れがある。		
	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）	a 中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損が複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。	d	L＝ B＝ S＝
			b 広範囲に亘り鉄筋が露出している。		
			c 一方方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
			d 局所的に鉄筋が露出している。		
		コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	a 性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		L＝ B＝ S＝
			b 幅1cm以上のひび割れがある。		
			c 小規模な欠損がある。		
			d 幅1cm未満のひび割れがある。		
		移動、散乱、沈下	a 点検単位長に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上		
			b 点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブ		
			c 消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。		
			d 変状なし。		
		損傷、亀裂	a 欠損しているブロックが1/4以上ある。		
			b aとcの中間的な変状がある。		
			c 欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。		
			d 変状なし。		

○ 簡易調査（簡易項目）で老朽化が見られなかった区間Aの上部工のスパン①、②、④、⑤、⑥、⑦及び⑨と、本体工のスパン①～⑦と⑨については「d」と記入した様式 7 又は様式 7' を作成した。

○ 区間Bの老朽化が見られなかったスパンについても同様に整理した。

正

③簡易調査（重点項目）の実施

【部材の老朽化度の評価】

○ 簡易項目により変状が確認されたスパン③、⑧、⑩及び⑪について、重点項目を実施する。

○ 「老朽化度評価基準」（様式 7 又は様式 7' ）に沿って、部材ごとに「a, b, c 又は d」の評価（老朽化度評価）を行う。

<スパン③の重点項目実施（老朽化度評価）結果の記入例>

対象施設	調査項目	調査方法	老朽化度の判断基準	判定結果	計測寸法（最大値）
重力式防波堤	施設全体	移 動	a 本体の一部がマウンドから外れている。	d	L＝
			b 隣接スパンとの間に側壁厚程度（40～50cm）のずれがある。		
			c 小規模な移動がある。		
			d 老朽化なし。		
	沈 下	目視 ・（目地ずれ）、段差	a 目視でも著しい沈下（1 m程度）が確認できる。	d	H＝
			b 隣接スパンとの間に数十cm程度の段差がある。		
			c 隣接スパンとの間に数cm程度の段差がある。		
			d 老朽化なし。		
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	a 防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	b	L＝1, 000mm B＝20mm S＝
			b1 部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。		
			レ b2 大規模（10%以上）な欠損がある。		
			幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。		
		コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）	a 性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	d	L＝ B＝ S＝
			b1 複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。		
			b2 複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
			c 10%未満の範囲で鉄筋が露出している。		
	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	a 性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		L＝ B＝ S＝
			b1 部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。		
			b2 大規模（10%以上）な欠損がある。		
			c 幅1cm未満のひび割れがある。		
		移動、散乱、沈下	a 点検単位長に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上減少している。		
			b 点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック 1 層未満）		
			c 消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。		
			d 老朽化なし。		
		損傷、亀裂	a 欠損しているブロックが1/4以上ある。		
			b aとcの中間的な変状がある。		
			c 欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。		
			d 老朽化なし。		

○ 簡易調査（簡易項目）で老朽化が見られなかった区間Aの上部工のスパン①、②、④、⑤、⑥、⑦及び⑨と、本体工のスパン①～⑦と⑨については「d」と記入した様式 7 又は様式 7' を作成した。

○ 区間Bの老朽化が見られなかったスパンについても同様に整理した。

③簡易調査（重点項目）の実施

【部材の老朽化度の評価】

○ 簡易項目により変状が確認されたスパン③、⑧、⑩及び⑪について、重点項目を実施する。

○ 「老朽化度評価基準」（様式 7 又は様式 7' ）に沿って、部材ごとに「a, b, c 又は d」の評価（老朽化度評価）を行う。

<スパン③の重点項目実施（老朽化度評価）結果の記入例>

○ 簡易調査（簡易項目）で老朽化が見られなかった区間Aの上部工のスパン①、②、④、⑤、⑥、⑦及び⑨と、本体工のスパン①～⑦と⑨については「d」と記入した様式 7 又は様式 7' を作成した。

○ 区間Bの老朽化が見られなかったスパンについても同様に整理した。

③簡易調査（重点項目）の実施（つづき）

○ 様式7 又は様式7'（スパン毎）の結果を様式9 に整理。

漁港施設簡易調査（老朽化度・健全度の評価）																	【様式9-1】	
漁港名	〇〇漁港	施設名	〇〇防波堤	構造形式	ケーソン	スパン毎の老朽化度の評価										調査者所属	調査者氏名	健全度の評価
対象施設	調査位置	調査項目	調査方法	変状	老朽化度	確認される変状の程度	No. ①	No. ②	No. ③	No. ④	No. ⑤	No. ⑥	No. ⑦	No. ⑧	No. ⑨	No. ⑩	No. ⑪	
施設全体	移動	目視（バジャー等による計測を含む、以下同じ）	・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。													
				b	隣接ケーソンとの間に側壁厚程度（40～50mm）のずれがある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	
				c	小規模な移動がある。													
				d	変状なし。													
				a	目視でも著しい沈下（1m程度）が確認できる。													
				b	隣接ケーソンとの間に数+cm程度の段差がある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	
				c	隣接ケーソンとの間に数cm程度の段差がある。													
				d	変状なし。													
	沈下	・目地ずれ、段差	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。														
			b	幅1cm以上のひび割れがある。	d	d	b	d	d	d	b	d	b	d				
			c	小規模な欠損がある。														
			d	幅1cm未満のひび割れがある。														
上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視	・ひび割れ、損傷、欠損 ・劣化の兆候など	a	中詰め材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	d	d	b	d	d	d	d	b	d	b	d		
				b	複数方向に幅1mm程度のひび割れがある。													
				c	広範囲に亘り鉄筋が露出している。													
				d	一方に幅1mm程度のひび割れがある。													
	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）	目視	・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候など	a	局所的に鉄筋が露出している。	d	d	d	d	d	d	d	b	d	b	b	d
					b	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。												
					c	幅1cm以上のひび割れがある。												
					d	小規模な欠損がある。												
		コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	目視	・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・劣化の兆候など	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。												
					b	幅1cm以上のひび割れがある。												
					c	幅1cm未満のひび割れがある。												
					d	変状なし。												
消波工	移動、散乱、沈下	目視	・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上減少している。													
				b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）													
				c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。													
				d	変状なし。													
	損傷、亀裂	目視	・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。													
				b	aとcの中間的な変状がある。													
				c	欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。													
				d	変状なし。													

○ 2 巡目以降にかかる点検の場合、前回調査結果を（ ）併記することで機能保全計画策定の有益な情報となる。



③簡易調査（重点項目）の実施（つづき）

○ 様式7 又は様式7'（スパン毎）の結果を様式9 に整理。

漁港名	〇〇漁港	施設名	〇〇防波堤	構造形式	ケーソン	調査者所属	調査者氏名															
対象施設	調査位置	調査項目	調査方法	変状	老朽化の判断基準	スパン毎の老朽化度の評価										健全度の評価						
						No. ①	No. ②	No. ③	No. ④	No. ⑤	No. ⑥	No. ⑦	No. ⑧	No. ⑨	No. ⑩							
重力式防波堤	施設全体	移動	目視（ジャー等による計測を含む、以下同じ）	・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d						
					b	隣接スパンとの間に側壁厚程度（40～50mm）のずれがある。																
					c	小規模な移動がある。																
					d	老朽化なし。																
		沈下			・目地ずれ、段差	a	目視でも著しい沈下（1 m程度）が確認できる。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d					
						b	隣接スパンとの間に数+cm程度の段差がある。															
						c	隣接スパンとの間に数cm程度の段差がある。															
						d	老朽化なし。															
		上部工			コンクリートの劣化、損傷	目視	・ひび割れ、剥離、欠損 ・劣化の兆候など	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	d	d	b	d	d	d	d	b	d	b	d		
								b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。													
									大規模（10%以上）な欠損がある。													
								b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。													
				中規模（5～10%未満）な欠損がある。																		
	c			幅1cm未満のひび割れがある。																		
				小規模（5%未満）な欠損がある。																		
	d			老朽化なし。																		
	本体工（側壁、スリット部）			コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）				目視	・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候など	a	中詰め材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	d	d	d	d	d	d	d	b	d	b	b
										b1	複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。											
											10%以上の範囲で鉄筋が露出している。											
										b2	複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。											
					10%未満の範囲で鉄筋が露出している。																	
		c			一方に幅3mm程度のひび割れがある。																	
					局所的に鉄筋が露出している。																	
		d			老朽化なし。																	
消波工		コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	目視		・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・劣化の兆候など	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。															
						b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。															
							大規模（10%以上）な欠損がある。															
						b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。															
				中規模（5～10%未満）な欠損がある。																		
	c			幅1cm未満のひび割れがある。																		
				小規模（5%未満）な欠損がある。																		
	d			老朽化なし。																		
	移動、散乱、沈下			目視		・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上減少している。														
							b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）											d	d		
							c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。														
							d	老朽化なし。														
損傷、亀裂	目視	・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。																		
			b	aとcの中間的な変状がある。																		
			c	欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。												d	d					
			d	老朽化なし。																		

○ 2 巡目以降にかかる点検の場合、前回調査結果を（ ）併記することで機能保全計画策定の有益な情報となる。



ページ番号
参考資料－1－1
p. 参考 1-1-10

誤

正

○ 検討結果を踏まえ、区間Aの各調査項目毎の健全度を様式9に整理（施設全体：D、上部工：C、本体工：B、消波工：D）。

また、区間A全体の健全度の評価は、一番健全度の悪い本体工の結果を代表させ「B」とする。

漁港施設簡易調査（老朽化度・健全度の評価）														【様式9-1】		
漁港名	〇〇漁港		施設名	〇〇防波堤		構造形式	ケーソン		調査者所属		調査者氏名					
対象施設	調査位置	調査項目	調査方法	変状	老朽化度	確認される変状の程度	スパン毎の老朽化度の評価									健全度の評価
							No. ①	No. ②	No. ③	No. ④	No. ⑤	No. ⑥	No. ⑦	No. ⑧	No. ⑨	
重力式防波堤	施設全体	移動	目視（ ジャ等 による 計測を 含む、 以下同 じ）	・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。										
					b	隣接ケーソンとの間に側壁厚程度（40～50mm）のずれがある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	D
					c	小規模な移動がある。										
					d	変状なし。										
		沈下	目視（ ジャ等 による 計測を 含む、 以下同 じ）	・目地ずれ、 段差	a	目視でも著しい沈下（1m程度）が確認できる。										
					b	隣接ケーソンとの間に数+cm程度の段差がある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	D
					c	隣接ケーソンとの間に数cm程度の段差がある。										
					d	変状なし。										
	上部工	コンクリートの劣化、 損傷	目視	・ひび割れ、 損傷、欠損 ・劣化の兆候 など	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。										
					b	幅1cm以上のひび割れがある。	d	d	b	d	d	d	b	d	b	C
					c	小規模な欠損がある。										
					d	幅1cm未満のひび割れがある。										
	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、 損傷（RCの場合）	目視	・ひび割れ、 剥離、損傷、 欠損 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候 など	a	変状なし。										
					b	中詰め材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	d	d	d	d	d	d	b	d	b	B
					c	複数方向に幅1mm程度のひび割れがある。										B
					d	広範囲に亘り鉄筋が露出している。										(c)
		コンクリートの劣化、 損傷（無筋の場合）	目視	・ひび割れ、 剥離、損傷、 欠損 ・劣化の兆候 など	a	一方方向に幅1mm程度のひび割れがある。							(c)	(c)	(c)	(c)
					b	局所的に鉄筋が露出している。										
					c	変状なし。										
					d	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。										
	消波工	移動、散乱、 沈下	目視	・消波工の天端、 法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	幅1cm以上のひび割れがある。										
					b	小規模な欠損がある。										
					c	幅1cm未満のひび割れがある。										
					d	変状なし。										
		損傷、亀裂	目視	・消波工の天端、 法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上減少している。										
					b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）										
					c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。										
					d	変状なし。										

○ 2 巡目以降にかかる点検の場合、前回調査結果を（ ）併記することで機能保全計画策定の有益な情報となる。

○ 区間Bについても同様に、整理する。

【老朽化度及び健全度評価の終了】

○ 検討結果を踏まえ、区間Aの各調査項目毎の健全度を様式9に整理（施設全体：D、上部工：C、本体工：B、消波工：D）。

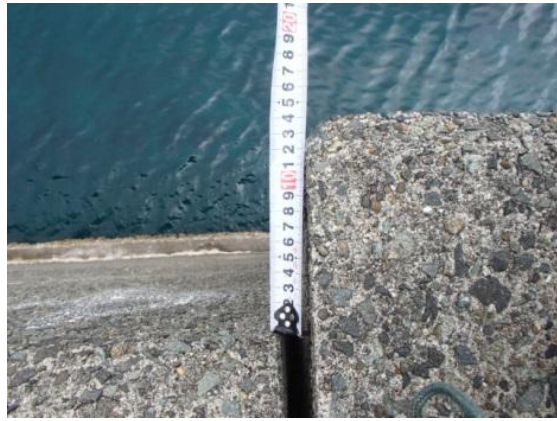
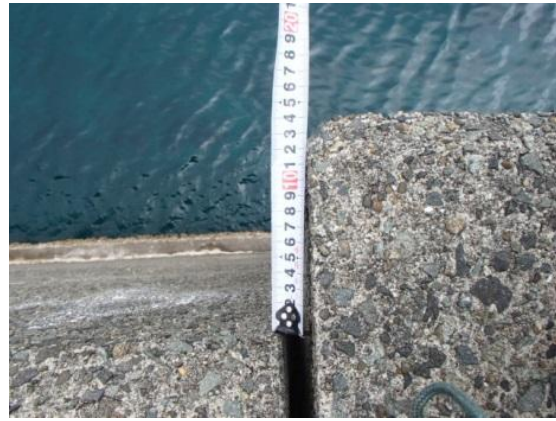
また、区間A全体の健全度の評価は、一番健全度の悪い本体工の結果を代表させ「B」とする。

水産基盤施設簡易調査（老朽化度・健全度の評価）																【様式9-1】	
漁港名	〇〇漁港		施設名	〇〇防波堤		構造形式	ケーソン		調査者所属		調査者氏名						
対象施設	調査位置	調査項目	調査方法	変状	老朽化の判断基準		スパン毎の老朽化度の評価									健全度の評価	
							No. ①	No. ②	No. ③	No. ④	No. ⑤	No. ⑥	No. ⑦	No. ⑧	No. ⑨		
重力式防波堤	施設全体	移動	目視（ ジャ等 による 計測を 含む、 以下同 じ）	・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。											
					b	隣接スパンとの間に側壁厚程度（40～50mm）のずれがある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	D	
					c	小規模な移動がある。											
					d	老朽化なし。											
		沈下	目視（ ジャ等 による 計測を 含む、 以下同 じ）	・目地ずれ、 段差	a	目視でも著しい沈下（1m程度）が確認できる。											
					b	隣接スパンとの間に数+cm程度の段差がある。	d	d	d	d	d	d	d	d	d	D	
					c	隣接スパンとの間に数cm程度の段差がある。											
					d	老朽化なし。											
	上部工	コンクリートの劣化、 損傷	目視	・ひび割れ、 損傷、欠損 ・劣化の兆候 など	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。											
					b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。	d	d	b	d	d	d	d	b	d	C	
					b2	大規模（10%以上）な欠損がある。											
					c	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。											
	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、 損傷（RCの場合）	目視	・ひび割れ、 剥離、損傷、 欠損 ・鉄筋露出 ・劣化の兆候 など	a	中規模（5～10%未満）な欠損がある。											
					b1	幅1cm未満のひび割れがある。											
					c	老朽化なし。											
					d	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。											
		コンクリートの劣化、 損傷（無筋の場合）	目視	・ひび割れ、 剥離、損傷、 欠損 ・劣化の兆候 など	a	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。											
					b1	大規模（10%以上）な欠損がある。											
					b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。											
					c	中規模（5～10%未満）な欠損がある。											
	消波工	移動、散乱、 沈下	目視	・消波工の天端、 法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	幅1cm未満のひび割れがある。											
					b	小規模（5%未満）な欠損がある。											
					c	老朽化なし。											
					d	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。											
		損傷、亀裂	目視	・消波工の天端、 法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上減少している。											
					b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）											
					c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。											
					d	変状なし。											

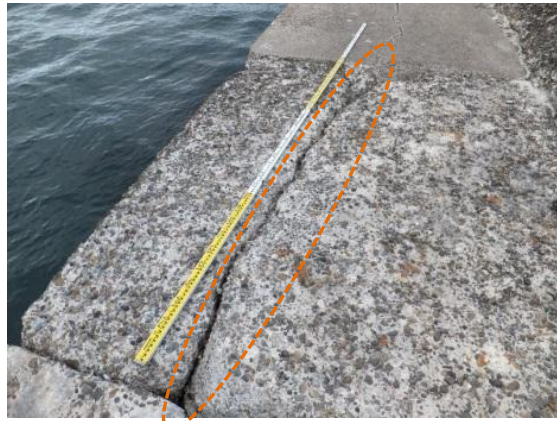
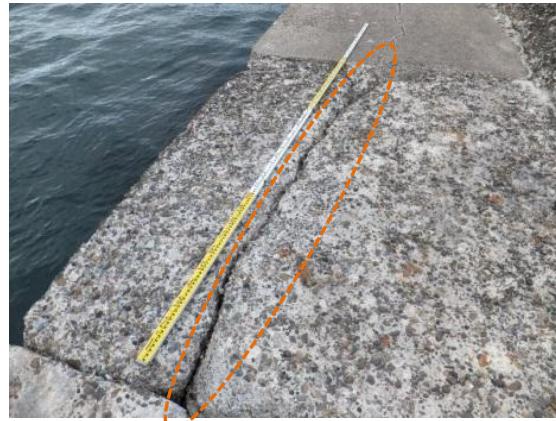
○ 2 巡目以降にかかる点検の場合、前回調査結果を（ ）併記することで機能保全計画策定の有益な情報となる。

○ 区間Bについても同様に、整理する。

【老朽化度及び健全度評価の終了】

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-3	誤	正																																																
	①重力式防波堤【施設全体】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>移動</td><td>調査項目</td><td>移動</td></tr><tr><td>変状</td><td>水平移動量</td><td>変状</td><td>水平移動量</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接ケーソンとの間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある</td><td>老朽化度</td><td>c：小規模な移動がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「c」の「小規模」とは、「b」を参考に 40cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い <table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※</td><td>老朽化度</td><td>b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「b」の「数十 cm」とは、「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	移動	調査項目	移動	変状	水平移動量	変状	水平移動量	老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある	老朽化度	c：小規模な移動がある※	調査項目	沈下	調査項目	沈下	変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差	老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※	老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※	①重力式防波堤【施設全体】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>移動</td><td>調査項目</td><td>移動</td></tr><tr><td>変状</td><td>水平移動量</td><td>変状</td><td>水平移動量</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接スパンとの間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある</td><td>老朽化度</td><td>c：小規模な移動がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「c」の「小規模」とは、「b」を参考に 40cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い <table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接スパンとの間に数十 cm の段差がある※</td><td>老朽化度</td><td>b：隣接スパンとの間に数十 cm の段差がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「b」の「数十 cm」とは、「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	移動	調査項目	移動	変状	水平移動量	変状	水平移動量	老朽化度	b：隣接 スパン との間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある	老朽化度	c：小規模な移動がある※	調査項目	沈下	調査項目	沈下	変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差	老朽化度	b：隣接 スパン との間に数十 cm の段差がある※	老朽化度	b：隣接 スパン との間に数十 cm の段差がある※
調査項目	移動	調査項目	移動																																															
変状	水平移動量	変状	水平移動量																																															
老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある	老朽化度	c：小規模な移動がある※																																															
調査項目	沈下	調査項目	沈下																																															
変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差																																															
老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※	老朽化度	b：隣接ケーソンとの間に数十 cm の段差がある※																																															
調査項目	移動	調査項目	移動																																															
変状	水平移動量	変状	水平移動量																																															
老朽化度	b：隣接 スパン との間に側壁厚程度(50cm程度 40cm～50cm)のずれがある	老朽化度	c：小規模な移動がある※																																															
調査項目	沈下	調査項目	沈下																																															
変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差																																															
老朽化度	b：隣接 スパン との間に数十 cm の段差がある※	老朽化度	b：隣接 スパン との間に数十 cm の段差がある※																																															

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-4	誤	正																																																
	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※</td><td>老朽化度</td><td>c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「c」の「数 cm」とは、「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い ②重力式防波堤【上部工】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※</td><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「a」の「性能に影響を及ぼす程度」とは、中詰材が流出可能な程度や性能規定に対する安全性の観点から 20%程度（滑動、転倒等にかかる安全率 1.2 以上）を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	沈下	調査項目	沈下	変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差	老朽化度	c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※	老朽化度	c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td><td>変状</td><td>目地ずれ、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：隣接スパンとの間に数 cm の段差がある※</td><td>老朽化度</td><td>c：隣接スパンとの間に数 cm の段差がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「c」の「数 cm」とは、「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い ②重力式防波堤【上部工】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※</td><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「a」の「性能に影響を及ぼす程度」とは、中詰材が流出可能な程度や性能規定に対する安全性の観点から 20%程度（滑動、転倒等にかかる安全率 1.2 以上）を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	沈下	調査項目	沈下	変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差	老朽化度	c：隣接 スパン との間に数 cm の段差がある※	老朽化度	c：隣接 スパン との間に数 cm の段差がある※	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※
調査項目	沈下	調査項目	沈下																																															
変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差																																															
老朽化度	c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※	老朽化度	c：隣接ケーソンとの間に数 cm の段差がある※																																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																																															
老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※																																															
調査項目	沈下	調査項目	沈下																																															
変状	目地ずれ、段差	変状	目地ずれ、段差																																															
老朽化度	c：隣接 スパン との間に数 cm の段差がある※	老朽化度	c：隣接 スパン との間に数 cm の段差がある※																																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																																															
老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※	老朽化度	a：防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある※																																															

ページ番号	誤				正																											
参考資料－１－２ p. 参考 1-2-5	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																														
老朽化度	b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b1：部材背面に達する幅 1cm 以上のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b2：幅 1cm 以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない																															
																																
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：大規模（10%以上）の欠損がある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b1：大規模（10%以上）の欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：小規模（10%未満）の欠損がある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：小規模（10%未満）の欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある								
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b1：大規模（10%以上）の欠損がある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b2：小規模（10%未満）の欠損がある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																															
老朽化度	b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある																															
																																

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-6	誤				正																										
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 1cm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 1cm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 1cm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある							
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																													
	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																													
	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある																													
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																													
	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																													
	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある																													
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																													
	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																													
老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある																														
																															
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 1cm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満程度）に欠損がある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満程度）に欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 1cm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：小規模（5%未満）な欠損がある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																														
老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある																														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																														
老朽化度	c：局所的（5%未満程度）に欠損がある																														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																														
老朽化度	c：幅 1cm 未満のひび割れがある																														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など																														
老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある																														
																															

ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-7

誤

調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など
老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある	老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある
			

正

調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など
老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある	老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある
			

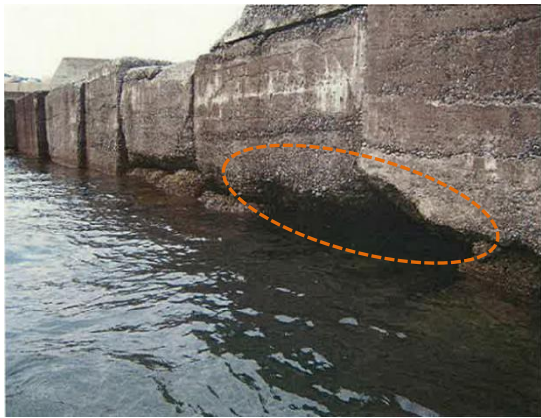
③重力式防波堤【本体工】における変状事例

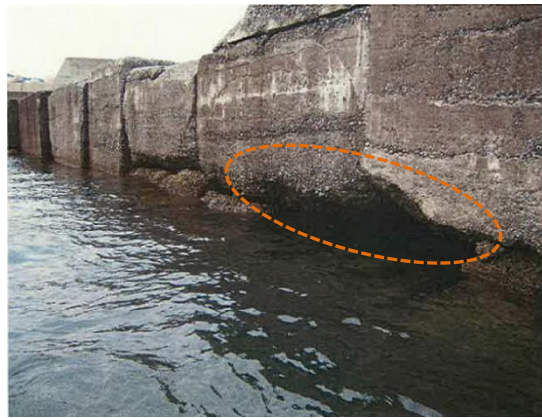
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など
老朽化度	a：中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある	老朽化度	b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している
			

③重力式防波堤【本体工】における変状事例

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など
老朽化度	a：中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある	老朽化度	a：中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある
			

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-8	誤				正																											
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満程度）に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満程度）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
	老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している																														
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
	老朽化度	c：局所的（5%未満程度）に鉄筋が露出している																														
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																															
																																
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出し</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出し	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している	
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出し																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																															
																																

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-9	誤		正												
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：大規模（10%以上）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b1：大規模（10%以上）な欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：小規模（10%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：小規模（10%未満）な欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	b1：大規模（10%以上）な欠損がある														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	b2：小規模（10%未満）な欠損がある														
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：軽微（5%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：軽微（5%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある														

正															
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：大規模（10%以上）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b1：大規模（10%以上）な欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	b1：大規模（10%以上）な欠損がある														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	b2：中規模（5～10%未満）な欠損がある														
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：小規模（5%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：小規模（5%未満）な欠損がある</td></tr></table> 		調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある														
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)														
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など														
老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある														

ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-10

誤

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など
老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある	老朽化度	c：軽微（5%未満）な欠損がある



④重力式防波堤【消波工】における変状事例

調査項目	移動、散乱、沈下	調査項目	損傷、亀裂
変状	天端、法面、法肩等の変形、移動、散乱	変状	損傷、亀裂、欠損など
老朽化度	c：消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している※	老朽化度	c：欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある※※

※参考：老朽化度「c」の「一部」とは、「a」「b」を参考に断面減少（天端高さ不足）にまで影響していない状態を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

※※参考：老朽化度「c」の「複数個」とは、2～3 個を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

正

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)
変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、欠損、劣化の兆候など
老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある	老朽化度	c：小規模（5%未満）な欠損がある



④重力式防波堤【消波工】における変状事例

調査項目	移動、散乱、沈下	調査項目	損傷、亀裂
変状	天端、法面、法肩等の変形、移動、散乱	変状	損傷、亀裂、欠損など
老朽化度	c：消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している※	老朽化度	c：欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある※※

※参考：老朽化度「c」の「一部」とは、「a」「b」を参考に断面減少（天端高さ不足）にまで影響していない状態を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

※※参考：老朽化度「c」の「複数個」とは、2～3 個を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

ページ番号

参考資料－1－2
p. 参考 1-2-11

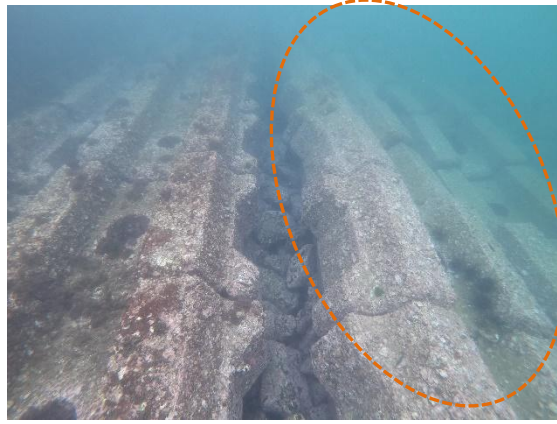
誤

⑤重力式防波堤【海底地盤、根固工および被覆工】における変状事例

調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）	調査項目	根固工の移動、散乱、沈下（潜水目視）
変状	－	変状	－
老朽化度	b：堤体直下もしくは捨石マウンド前面で深さ 0.5m 以上 1m 未満の洗堀がある	老朽化度	b：点検単位長の 10～50%の範囲で移動・散乱がある※

※参考：根固工は波力等により質量及び形状寸法が異なるため、構造形式や規模等を踏まえ、点検単位長（スパン長）を大きくして評価しても良い

調査項目	被覆工の移動、散乱、沈下（潜水目視）	調査項目	被覆工の移動、散乱、沈下（潜水目視）
変状	－	変状	－
老朽化度	a：被災率 5%以上の移動・散乱又は沈下がある※	老朽化度	b：被災率 1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある※



※参考：被災率とは、該当する範囲において被災（移動、散乱、沈下）した被覆工の個数の全体個数に対する割合である

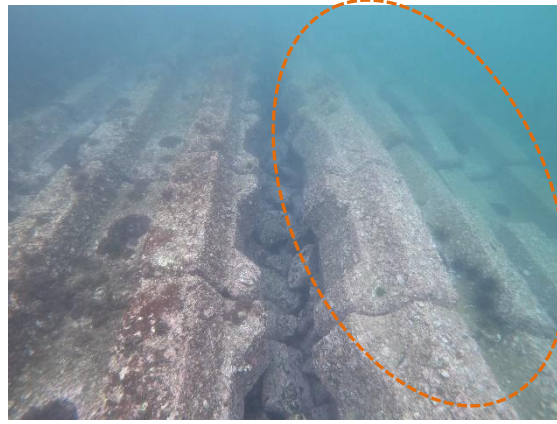
正

⑤重力式防波堤【海底地盤、根固工および被覆工】における変状事例

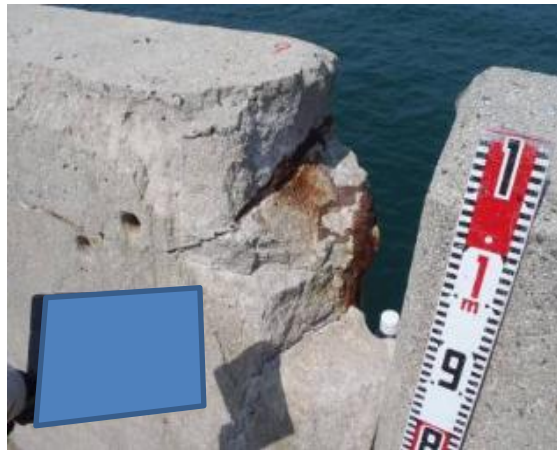
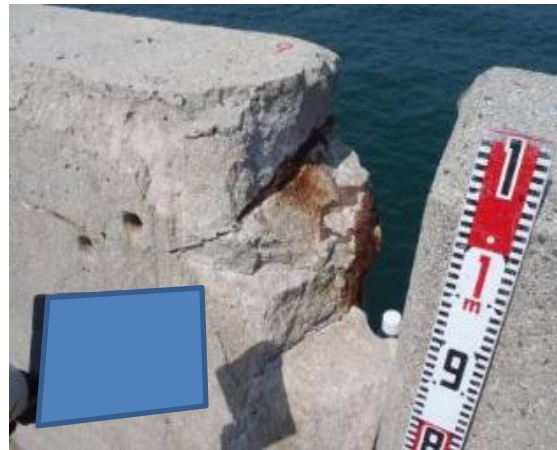
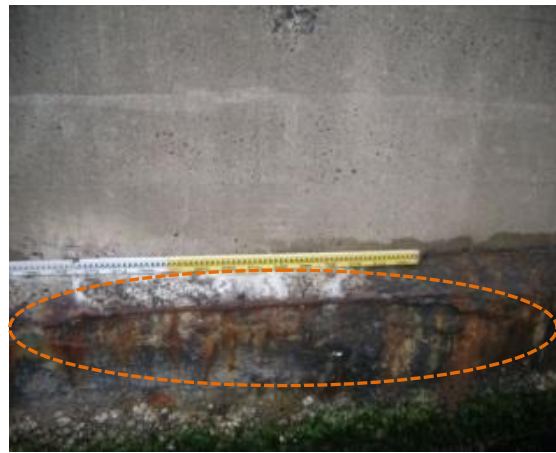
調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）	調査項目	根固工の移動、散乱、沈下（潜水目視）
変状	－	変状	－
老朽化度	b：捨石マウンドの法面前面深さ 0.5m 以上 1m 未満の洗堀がある	老朽化度	b：点検単位長の 10～50%の範囲で移動・散乱がある※

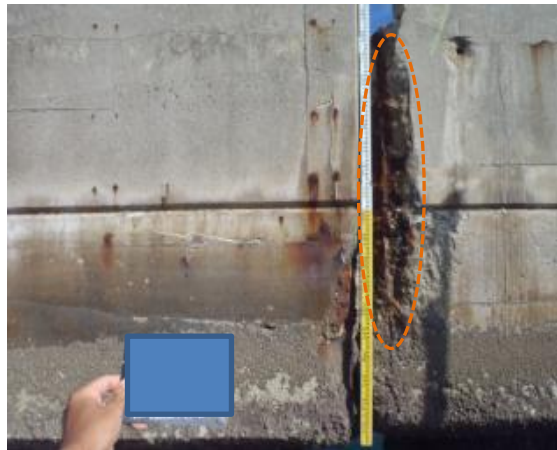
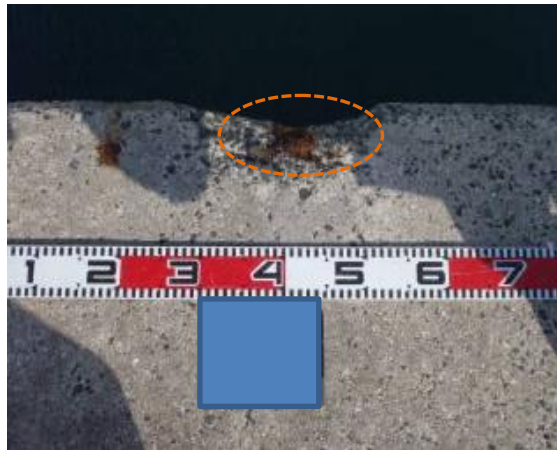
※参考：根固工は波力等により質量及び形状寸法が異なるため、構造形式や規模等を踏まえ、点検単位長（スパン長）を大きくして評価しても良い

調査項目	被覆工の移動、散乱、沈下（潜水目視）	調査項目	被覆工の移動、散乱、沈下（潜水目視）
変状	－	変状	－
老朽化度	a：被災率 5%以上の移動・散乱又は沈下がある※	老朽化度	b：被災率 1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある※

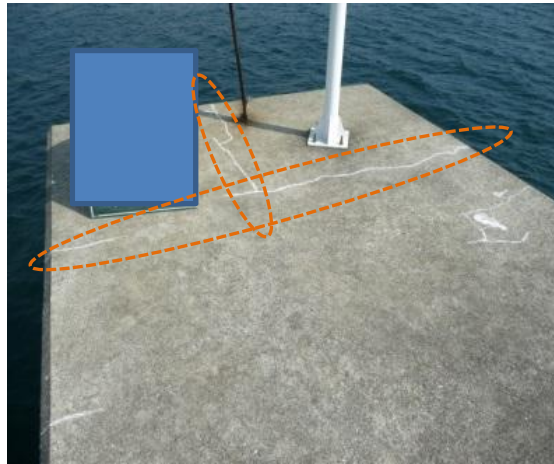
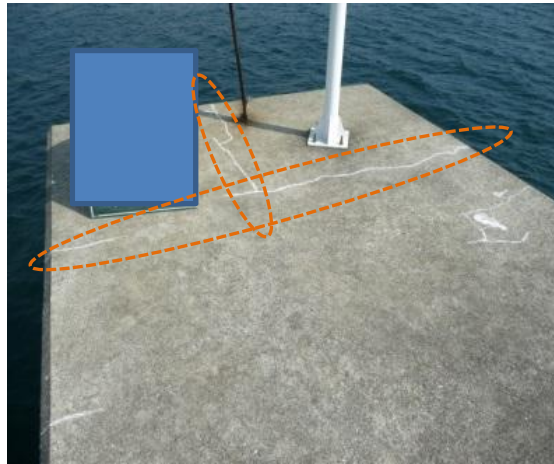
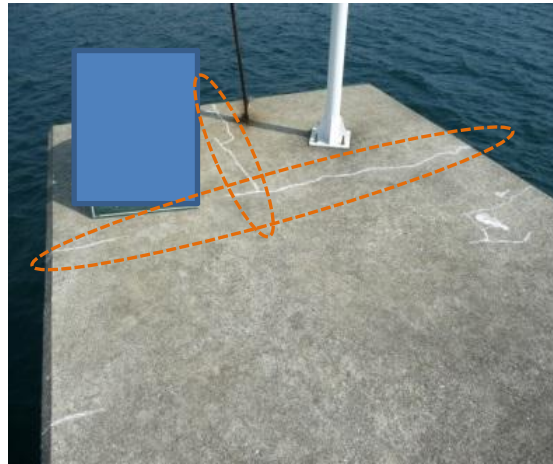
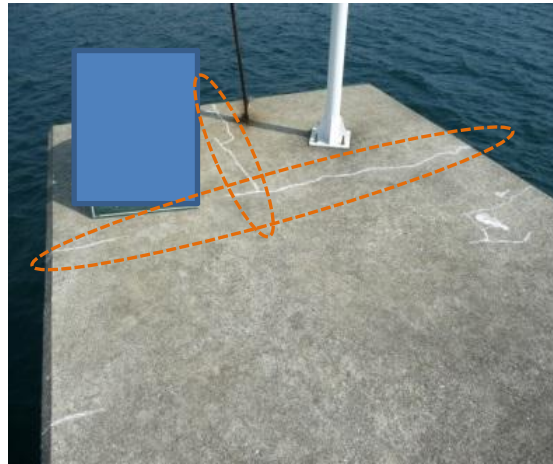
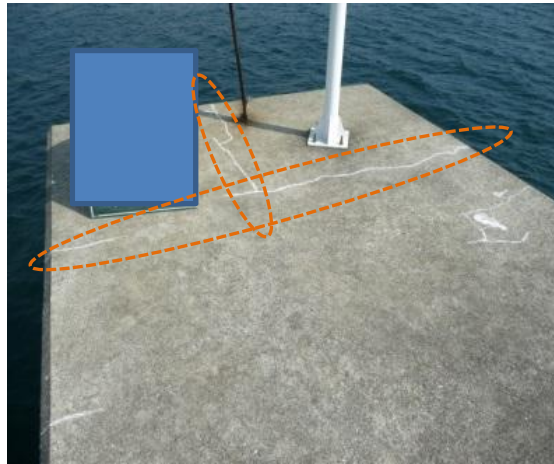
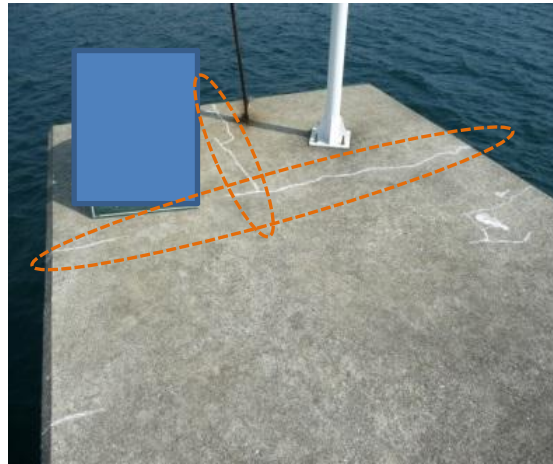


※参考：被災率とは、該当する範囲において被災（移動、散乱、沈下）した被覆工の個数の全体個数に対する割合である

ページ番号 参考資料－1－2 p. 参考 1-2-13	誤	正																																										
	(2) 調査位置ごとの変状事例及び老朽化度の補足説明 ①矢板式防波堤【上部工】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※</td><td>老朽化度</td><td>b1：複数方向に幅 3mm 以上のひび割れがある</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「a」の「性能を損なうような」とは、中詰材が流出可能な程度や防波堤法線の「a」を参考に 20cm 以上（高さ不足に係る断面減少）を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある</td><td>老朽化度</td><td>b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※	老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している	(2) 調査位置ごとの変状事例及び老朽化度の補足説明 ①矢板式防波堤【上部工】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※</td></tr></table>  ※参考：老朽化度「a」の「性能を損なうような」とは、中詰材が流出可能な程度や防波堤法線の「a」を参考に 20cm 以上（高さ不足に係る断面減少）を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある</td><td>老朽化度</td><td>b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																									
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																																									
老朽化度	a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※	老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 以上のひび割れがある																																									
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																									
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																																									
老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している																																									
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																																											
老朽化度	a：防波堤の性能を損なうような損傷がある※																																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																									
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																																									
老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b1：10%以上の範囲で鉄筋が露出している																																									

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-14	誤		正																									
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																										
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																										
老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																											
																												
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している													
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																											
																												

誤		正																									
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																										
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																										
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																										
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																										
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																										
老朽化度	c：局所的（5%未満）に鉄筋が露出している																										
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																										
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																										
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																										
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																										
変状	ひび割れ、剥離、損傷、欠損、鉄筋露出、劣化の兆候など																										
老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																										
																											

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-15	誤		正																																
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる</td><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる					<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある					
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																																
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れが見られる																																
																																			
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																																
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																																
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある																																
																																			
	②矢板式防波堤【鋼矢板等】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況</td><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある</td><td>老朽化度</td><td>b1：全体的に発錆がある※</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>		調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	老朽化度	a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある	老朽化度	b1：全体的に発錆がある※					②矢板式防波堤【鋼矢板等】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況</td><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある</td><td>老朽化度</td><td>b1：全体的に発錆がある※</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	老朽化度	a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある	老朽化度	b1：全体的に発錆がある※				
調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷																																
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況																																
老朽化度	a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある	老朽化度	b1：全体的に発錆がある※																																
																																			
調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷																																
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況																																
老朽化度	a：腐食による開孔や変形、その他の著しい損傷がある	老朽化度	b1：全体的に発錆がある※																																
																																			
	※参考：老朽化度「b1」の「全体的」とは、塗装の欠損率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※参考：老朽化度「b1」の「全体的」とは、塗装の欠陥面積率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																																

ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-16

誤

調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況
老朽化度	b1：L.W.L 付近に多数の孔食がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※



※参考：老朽化度「b1」の「多数」とは、塗装の欠損率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

※※参考：老朽化度「c」の「部分的」とは、塗装の欠損率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

③矢板式防波堤【海底地盤】における変状事例

調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）	調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）
変状	海底面の起伏	変状	海底面の起伏
老朽化度	b：防波堤前面で深さ 0.5m 以上 1m 未満の洗堀がある	老朽化度	c：深さ 0.5m 未満の洗堀又は堆積がある

正

調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷、継手の腐食状況
老朽化度	b1：L.W.L 付近に多数の孔食がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※



※参考：老朽化度「b1」の「多数」とは、塗装の欠陥面積率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

※※参考：老朽化度「c」の「部分的」とは、塗装の欠陥面積率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-19	誤		正																									
	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>護岸の沈下</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※</td></tr></table>	調査項目	沈下	変状	護岸の沈下	老朽化度	b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>護岸の沈下</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※</td></tr></table>	調査項目	沈下	変状	護岸の沈下	老朽化度	c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>護岸の沈下</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※</td></tr></table>	調査項目	沈下	変状	護岸の沈下	老朽化度	b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※	<table><tr><td>調査項目</td><td>沈下</td></tr><tr><td>変状</td><td>護岸の沈下</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※</td></tr></table>	調査項目	沈下	変状	護岸の沈下	老朽化度	c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※
調査項目	沈下																											
変状	護岸の沈下																											
老朽化度	b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※																											
調査項目	沈下																											
変状	護岸の沈下																											
老朽化度	c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※																											
調査項目	沈下																											
変状	護岸の沈下																											
老朽化度	b：隣接するスパンとの間に数十 cm 程度の段差がある※																											
調査項目	沈下																											
変状	護岸の沈下																											
老朽化度	c：隣接するスパンとの間に数 cm 程度の段差がある※※																											
																												
	※参考：老朽化度「b」の「数十 cm」とは、「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※参考：老朽化度「b」の「数十 cm」とは、「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																									
	※※参考：老朽化度「c」の「数 cm」とは、「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※※参考：老朽化度「c」の「数 cm」とは、「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																									
	②重力式護岸【上部工】における変状事例																											
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：複数方向に幅 3mm 程度より大きいひび割れがある</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 程度より大きいひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある</td></tr></table>	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 程度より大きいひび割れがある																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある																											
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																											
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																											
老朽化度	b2：複数方向に幅 3mm 程度のひび割れがある																											
																												

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-20	誤	正																								
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある</td><td>老朽化度</td><td>c：局所的 (5%未満) に鉄筋が露出している</td></tr></table>  	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	老朽化度	c：局所的 (5%未満) に鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある</td><td>老朽化度</td><td>c：局所的に鉄筋が露出している</td></tr></table>  	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																							
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																							
老朽化度	c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	老朽化度	c：局所的 (5%未満) に鉄筋が露出している																							
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																							
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																							
老朽化度	c：一方向に幅 3mm 程度のひび割れがある	老朽化度	c：局所的に鉄筋が露出している																							
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：貫通ひび割れから土砂が流出している</td><td>老朽化度</td><td>b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある</td></tr></table>  	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	老朽化度	a：貫通ひび割れから土砂が流出している	老朽化度	b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(無筋)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、劣化の兆候など</td><td>変状</td><td>ひび割れ、損傷、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：貫通ひび割れから土砂が流出している 兆候がある</td><td>老朽化度</td><td>b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある</td></tr></table>  	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	老朽化度	a：貫通ひび割れから土砂が流出している 兆候がある	老朽化度	b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)																							
変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など																							
老朽化度	a：貫通ひび割れから土砂が流出している	老朽化度	b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある																							
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(無筋)																							
変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、損傷、劣化の兆候など																							
老朽化度	a：貫通ひび割れから土砂が流出している 兆候がある	老朽化度	b2：部材表面に対して面積比で 5%未満の欠損がある																							

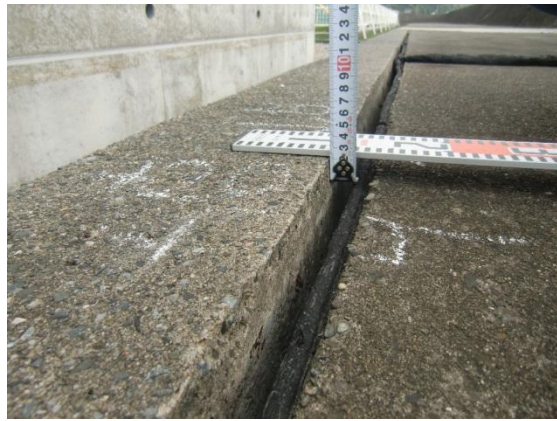
ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-22

誤

調査項目	陥没、吸出し	調査項目	陥没、吸出し
変状	沈下、陥没、目地ずれ等が起きている箇所、護岸背後の状況	変状	沈下、陥没、目地ずれ等が起きている箇所、護岸背後の状況
老朽化度	b：目地に顕著な開き、ずれがある※	老朽化度	c：目地に軽微な開き、ずれがある※※



※参考：老朽化度「b」の「顕著」とは、施設全体の沈下「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

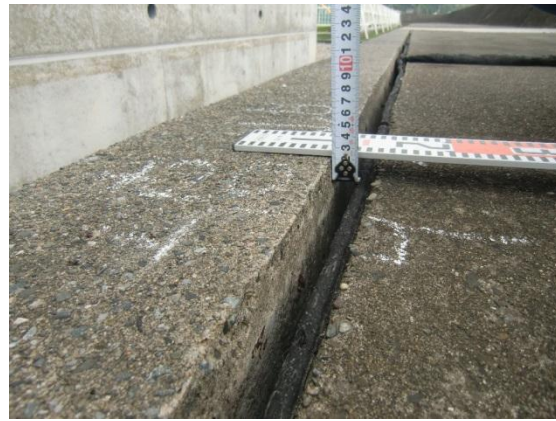
※※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、施設全体の沈下「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

④重力式護岸【海底地盤】における変状事例

調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）	調査項目	海底地盤の洗堀、堆積（潜水目視）
変状	海底面の起伏	変状	海底面の起伏
老朽化度	b：防波堤前面で深さ 0.5m 以上 1m 未満の洗堀がある	老朽化度	c：深さ 0.5m 未満の洗堀又は堆積がある

正

調査項目	陥没、吸出し	調査項目	陥没、吸出し
変状	沈下、陥没、目地ずれ等が起きている箇所、護岸背後の状況	変状	沈下、陥没、目地ずれ等が起きている箇所、護岸背後の状況
老朽化度	b：目地に顕著な開き、ずれがある※	老朽化度	c：目地に軽微な開き、ずれがある※※



※参考：老朽化度「b」の「顕著」とは、施設全体の沈下「a」「c」を参考に 1m 未満 10cm 以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

※※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、施設全体の沈下「b」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-25

誤

調査項目	沈下、陥没	調査項目	沈下、陥没
変状	－	変状	－
老朽化度	b：エプロンに 3cm 以上の沈下(段差)がある	老朽化度	c：重力式本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある※



※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、岸壁法線の「c」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷
変状	－	変状	－
老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れが 2m/m ² 以上である	老朽化度	a：車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる



正

調査項目	沈下、陥没	調査項目	沈下、陥没
変状	－	変状	－
老朽化度	b：エプロンに 3cm 以上の沈下(段差)がある	老朽化度	c：重力式本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある※



※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、岸壁法線の「c」を参考に 10cm 未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷
変状	－	変状	－
老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れ度が 2m/m ² 以上である	老朽化度	a：車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる



ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-26

誤

調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷
変状	－	変状	－
老朽化度	b：コンクリート舗装でひび割れが 0.5～2m/m ² である	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※



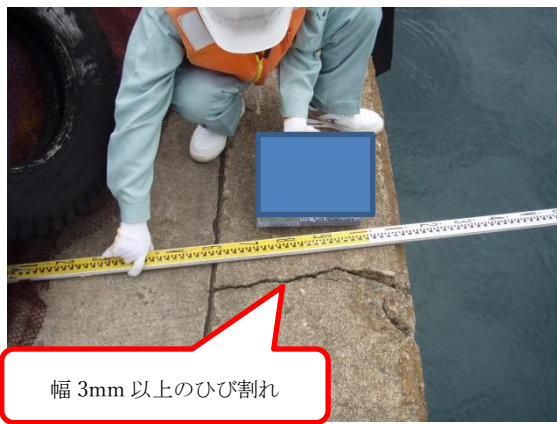


※参考：老朽化度「c」の「若干」とは、「b」を参考にコンクリートの場合、ひび割れ度 0.5m/m²未満、アスファルトの場合、ひび割れ率 20%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

③重力式係船岸【上部工】における変状事例

調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など
老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上 b のひび割れがある





幅 3mm 以上のひび割れ

幅 3mm 以上のひび割れ

正

調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷
変状	－	変状	－
老朽化度	b：コンクリート舗装でひび割れが 0.5～2m/m ² である	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※





※参考：老朽化度「c」の「若干」とは、「b」を参考にコンクリートの場合、ひび割れ度 0.5m/m²未満、アスファルトの場合、ひび割れ率 20%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

③重力式係船岸【上部工】における変状事例

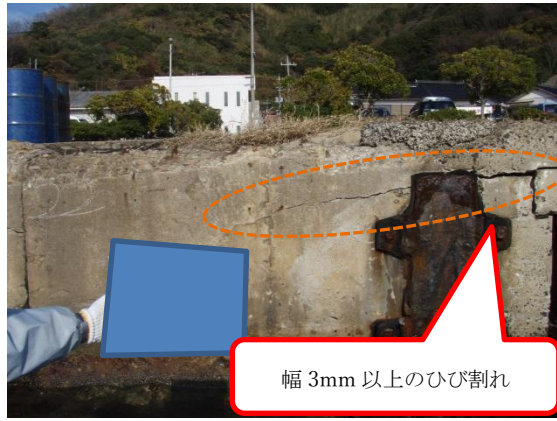
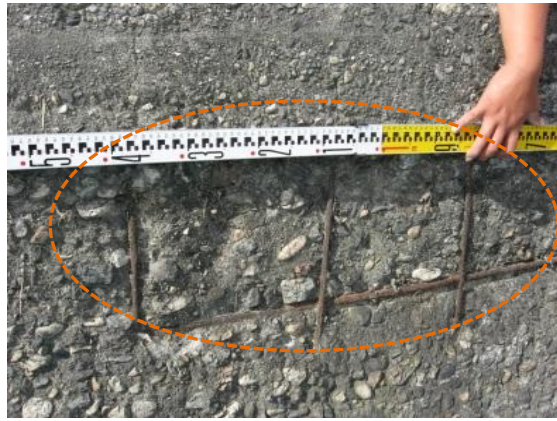
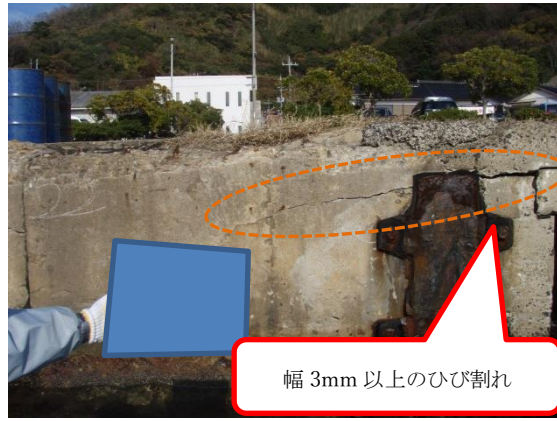
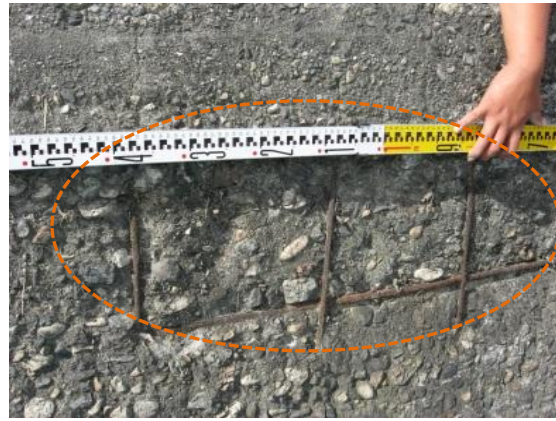
調査項目	コンクリートの劣化、損傷	調査項目	コンクリートの劣化、損傷
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など
老朽化度	b1：複数方向に幅 3mm 以上のひび割れがある	老朽化度	b2：一方向に幅 3mm 以上のひび割れがある

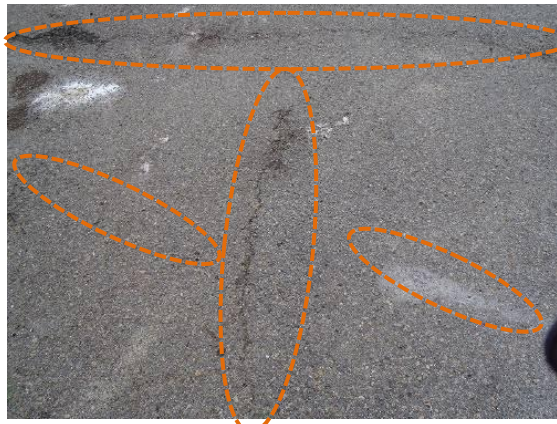
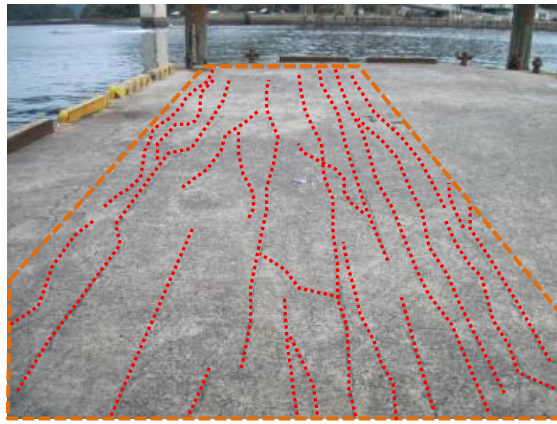
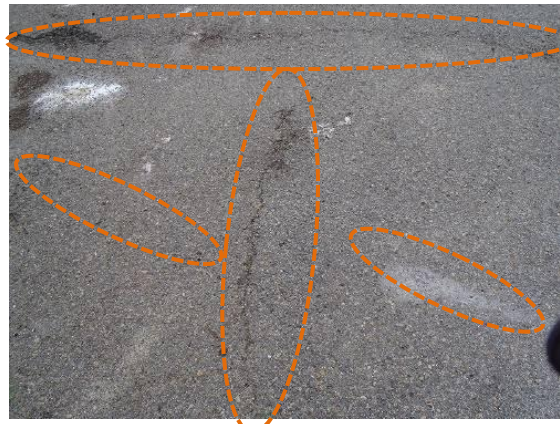
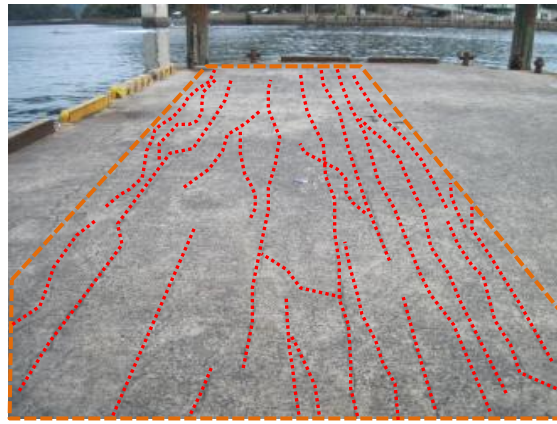
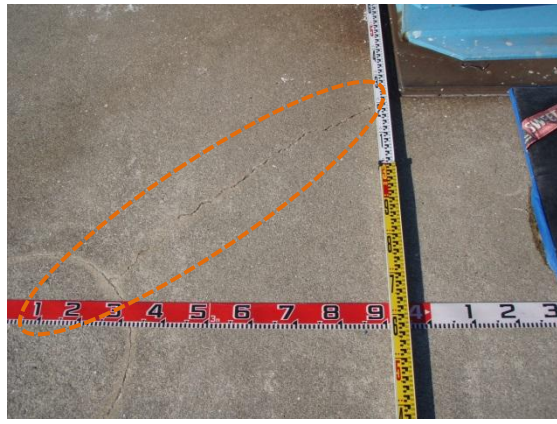
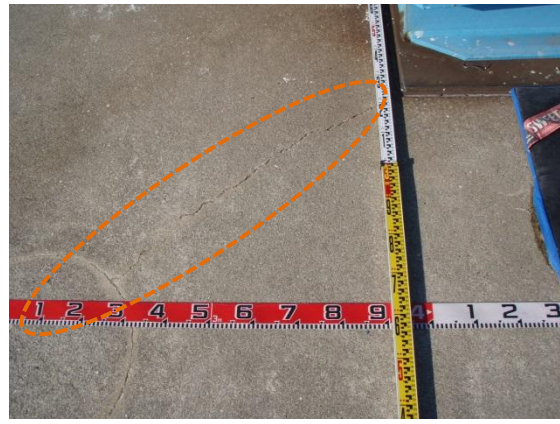


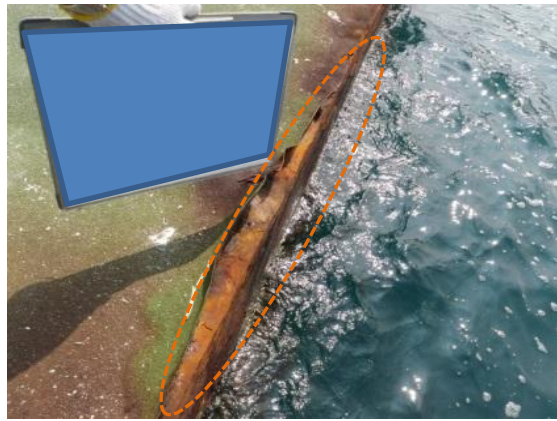
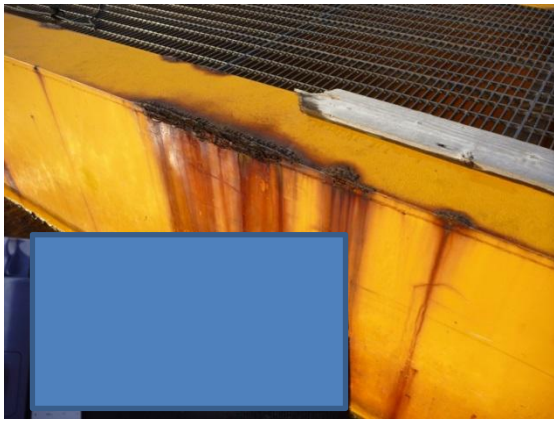
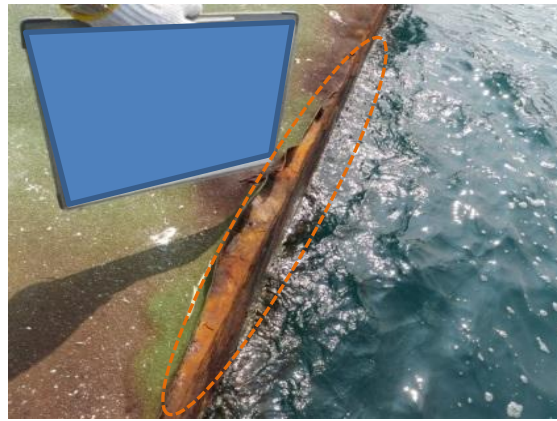
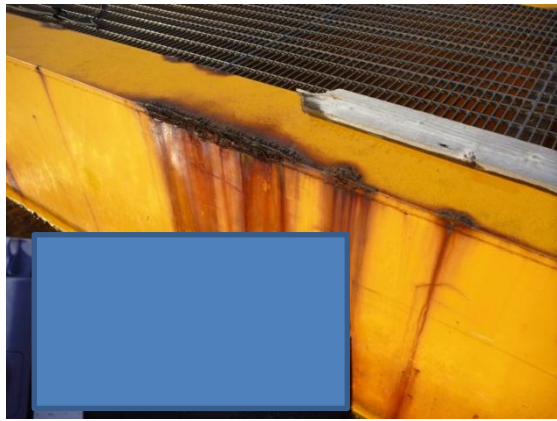
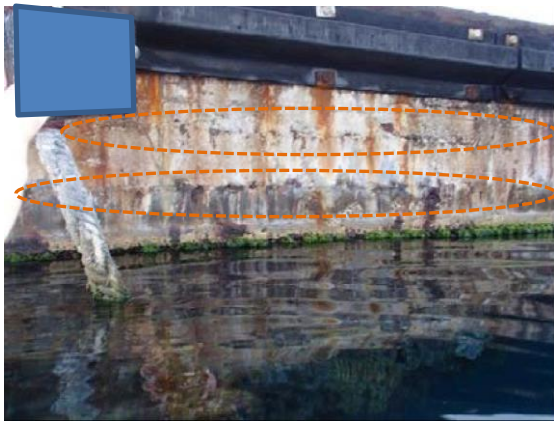
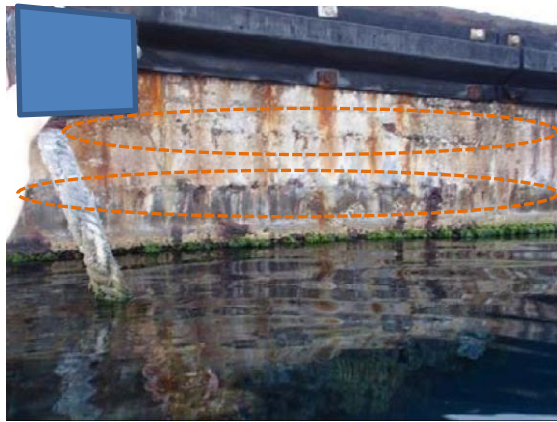


幅 3mm 以上のひび割れ

幅 3mm 以上のひび割れ

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-27	誤				正																											
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%以上の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10%以上の範囲で鉄筋が露出している	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b2：10%未満の範囲で鉄筋が露出している</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	b2：10% 未満 の範囲で鉄筋が露出している
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
	老朽化度	b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある																														
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
	老朽化度	b2：10%以上の範囲で鉄筋が露出している																														
	調査項目	コンクリートの劣化、損傷																														
	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																														
老朽化度	b2：一方向に：幅 3mm 以上のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	b2：10% 未満 の範囲で鉄筋が露出している																															
																																
<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：幅 3mm 未満のひび割れがある</td></tr></table>		調査項目	コンクリートの劣化、損傷	変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など	老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある	
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある																															
調査項目	コンクリートの劣化、損傷																															
変状	ひび割れ、剥離、損傷、鉄筋露出、劣化の兆候など																															
老朽化度	c：幅 3mm 未満のひび割れがある																															
																																

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-30	誤	正																								
	(2) 調査位置ごとの変状事例及び老朽化度の補足説明 ①浮体式係船岸【エプロン】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：コンクリート舗装でひび割れが 2m/m²以上である</td><td>老朽化度</td><td>b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れが 2m/m ² 以上である	老朽化度	b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である	(2) 調査位置ごとの変状事例及び老朽化度の補足説明 ①浮体式係船岸【エプロン】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：コンクリート舗装でひび割れ度が 2m/m²以上である</td><td>老朽化度</td><td>b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れ 度 が 2m/m ² 以上である	老朽化度	b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である
調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷																							
変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差																							
老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れが 2m/m ² 以上である	老朽化度	b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である																							
調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷																							
変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差																							
老朽化度	a：コンクリート舗装でひび割れ 度 が 2m/m ² 以上である	老朽化度	b：アスファルト舗装でひび割れ率が 20～30%以上である																							
	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：若干のひび割れが見られる※</td><td>老朽化度</td><td>c：若干のひび割れが見られる※</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※	<table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td><td>調査項目</td><td>コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td><td>変状</td><td>コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c：若干のひび割れが見られる※</td><td>老朽化度</td><td>c：若干のひび割れが見られる※</td></tr></table> 	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※
調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷																							
変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差																							
老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※																							
調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	調査項目	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷																							
変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差	変状	コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、凹凸、段差																							
老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※	老朽化度	c：若干のひび割れが見られる※																							
	※参考：老朽化度「c」の「若干」とは、「b」を参考にコンクリートの場合、ひび割れ度 0.5m/m ² 未満、アスファルトの場合、ひび割れ率 20%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	※参考：老朽化度「c」の「若干」とは、「b」を参考にコンクリートの場合、ひび割れ度 0.5m/m ² 未満、アスファルトの場合、ひび割れ率 20%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																								

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-32	誤	正																								
	<table><tr><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況</td><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：全体に発錆がある※</td><td>老朽化度</td><td>c：部分的に発錆がある※※</td></tr></table>   ※参考：老朽化度「b1」の「全体的」とは、塗装の欠損率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い ※※参考：老朽化度「c」の「部分的」とは、塗装の欠損率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	老朽化度	b1：全体に発錆がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※	<table><tr><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td><td>調査項目</td><td>鋼材の腐食、亀裂、損傷</td></tr><tr><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況</td><td>変状</td><td>穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b1：全体に発錆がある※</td><td>老朽化度</td><td>c：部分的に発錆がある※※</td></tr></table>   ※参考：老朽化度「b1」の「全体的」とは、塗装の欠陥面積率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い ※※参考：老朽化度「c」の「部分的」とは、塗装の欠陥面積率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	老朽化度	b1：全体に発錆がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※
調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷																							
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況																							
老朽化度	b1：全体に発錆がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※																							
調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷	調査項目	鋼材の腐食、亀裂、損傷																							
変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況	変状	穴あきの有無、鋼材の腐食、表面の傷の状況																							
老朽化度	b1：全体に発錆がある※	老朽化度	c：部分的に発錆がある※※																							
	④浮体式係船岸【ポンツーン外部(鋼製、RC/PC 製)】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況</td><td>変状</td><td>ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：かぶりの剥離がある</td><td>老朽化度</td><td>a：錆汁が広範囲に発生している※</td></tr></table>   ※参考：老朽化度「a」の「広範囲」とは、塗装の欠損率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	老朽化度	a：かぶりの剥離がある	老朽化度	a：錆汁が広範囲に発生している※	④浮体式係船岸【ポンツーン外部(鋼製、RC/PC 製)】における変状事例 <table><tr><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td><td>調査項目</td><td>コンクリートの劣化、損傷(RC)</td></tr><tr><td>変状</td><td>ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況</td><td>変状</td><td>ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>a：かぶりの剥離がある</td><td>老朽化度</td><td>a：錆汁が広範囲に発生している※</td></tr></table>   ※参考：老朽化度「a」の「広範囲」とは、塗装の欠陥面積率「a」を参考に 10%以上を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	老朽化度	a：かぶりの剥離がある	老朽化度	a：錆汁が広範囲に発生している※
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																							
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況																							
老朽化度	a：かぶりの剥離がある	老朽化度	a：錆汁が広範囲に発生している※																							
調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)																							
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況																							
老朽化度	a：かぶりの剥離がある	老朽化度	a：錆汁が広範囲に発生している※																							

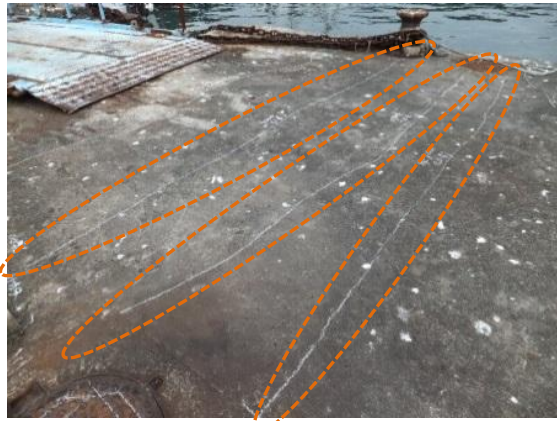
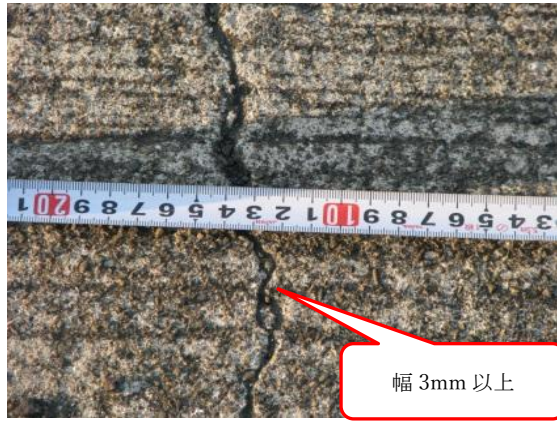
ページ番号

参考資料－１－２

p. 参考 1-2-33

誤

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	a：幅 3mm 以上の鉄筋に沿ったひび割れがある	老朽化度	b2：幅 2mm 未満の鉄筋に沿ったひび割れがある



調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	b：錆汁が部分的に発生している※	老朽化度	c：軽微なひび割れがある※

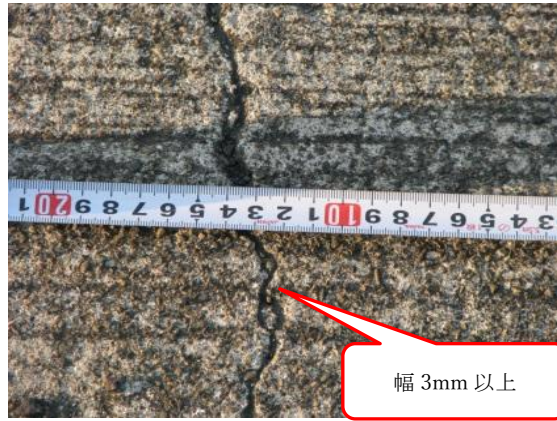


※参考：老朽化度「b」の「部分的」とは、塗装の欠損率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

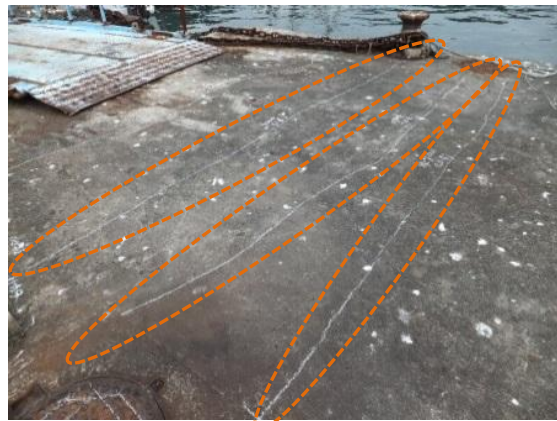
※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、「b」を参考に 1mm 未満程度を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

正

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	a：幅 3mm 以上の鉄筋に沿ったひび割れがある	老朽化度	b1：錆汁が部分的に発生している※



調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	b2：幅 2mm 未満の鉄筋に沿ったひび割れがある	老朽化度	c：軽微なひび割れがある※



※参考：老朽化度「b1」の「部分的」とは、塗装の欠陥面積率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

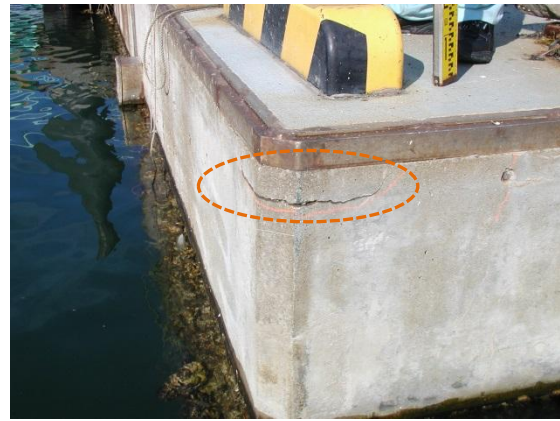
※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、「b」を参考に 1mm 未満程度を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

ページ番号

参考資料－１－２
p. 参考 1-2-34

誤

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	c：軽微なひび割れがある※※	老朽化度	c：錆汁が点状に発生している





※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、「b」を参考に 1mm 未満程度を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

⑤浮体式係船岸【係留杭・係留チェーン】における変状事例

調査項目	摩耗、塗装、腐食	調査項目	摩耗、塗装、腐食
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断
老朽化度	a：係留杭に変形、著しい摩耗、開孔がある	老朽化度	b：係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※

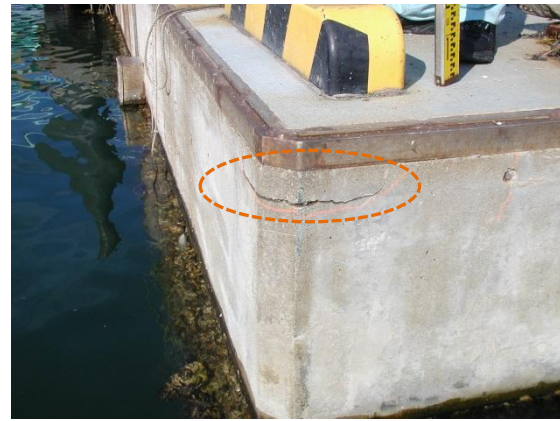




※参考：老朽化度「b」の「軽微」とは、塗装の欠損率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

正

調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)	調査項目	コンクリートの劣化、損傷(RC)
変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況	変状	ひび割れの発生方向、本数、長さ、幅、かぶりの剥離状況、錆汁の発生状況、鉄筋の腐食状況
老朽化度	c：軽微なひび割れがある※	老朽化度	c：錆汁が点状に発生している





※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、「b」を参考に 1mm 未満程度を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

⑤浮体式係船岸【係留杭・係留チェーン】における変状事例

調査項目	摩耗、塗装、腐食	調査項目	摩耗、塗装、腐食
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断
老朽化度	a：係留杭に変形、著しい摩耗、開孔がある	老朽化度	b：係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※





※参考：老朽化度「b」の「軽微」とは、塗装の欠陥面積率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い

ページ番号 参考資料－１－２ p. 参考 1-2-35	誤		正																									
	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	b: 係留杭に軽微な摩耗や孔食がある※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※※																											
	※参考：老朽化度「b」の「軽微」とは、塗装の欠損率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※参考：老朽化度「b」の「軽微」とは、塗装の欠陥面積率「b」を参考に 10%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																									
	※※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、塗装の欠損率「c」を参考に 0.3%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、塗装の欠陥面積率「c」を参考に 0.3%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																									
	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※	<table><tr><td>調査項目</td><td>摩耗、塗装、腐食</td></tr><tr><td>変状</td><td>係留杭の状態、係留チェーンの破断</td></tr><tr><td>老朽化度</td><td>c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※</td></tr></table> 	調査項目	摩耗、塗装、腐食	変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断	老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※																											
調査項目	摩耗、塗装、腐食																											
変状	係留杭の状態、係留チェーンの破断																											
老朽化度	c: 被覆材に軽微な損傷が見られる※																											
	※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、塗装の欠損率「c」を参考に 0.3%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い		※参考：老朽化度「c」の「軽微」とは、塗装の欠陥面積率「c」を参考に 0.3%未満を目安に構造形式や規模等を踏まえ判断すると良い																									

ページ番号	誤	正																				
巻末資料 1 p. 巻末 1-1	1. 巻末資料 1 はあくまで評価基準を示したものであり、実際の機能保全計画策定に係る記入様式は、「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」（令和 6 年 4 月改訂、水産庁漁港漁場整備部）の第Ⅲ部に掲載している様式を活用する。 2. 増殖場（消波施設等及び中間育成施設）と養殖場（消波施設等及び区画施設）については、漁港施設の老朽化度の評価基準のなかから類似の施設の基準を準用する。参考までに「対象施設」に漁場施設の一部を（ ）書きで示した。 3. 鋼構造の施設に係る老朽化度の評価基準にある「欠損面積率」は、ASTM-D610 を参考に定めた下図の評価基準による。 <table><tr><th>老朽化度</th><th>さび発生面積率 (ASTM-D610)</th></tr><tr><td>a 【欠損面積率 10%以上】</td><td> 4 3 2 1 10% 16% 33% 50% </td></tr><tr><td>b 【欠損面積率 0.3%以上 10%未満】</td><td> 7 6 5 0.3% 1% 3% </td></tr><tr><td>c 【欠損面積率 0.03%以上 0.3%未満】</td><td> 9 8 0.03% 0.1% </td></tr><tr><td>d 【欠損面積率 0.03%未満】</td><td></td></tr></table> 図-Ⅲ. 1 ASTM-D610 を参考に定めた欠損面積率の判定基準	老朽化度	さび発生面積率 (ASTM-D610)	a 【欠損面積率 10%以上】	4 3 2 1 10% 16% 33% 50%	b 【欠損面積率 0.3%以上 10%未満】	7 6 5 0.3% 1% 3%	c 【欠損面積率 0.03%以上 0.3%未満】	9 8 0.03% 0.1%	d 【欠損面積率 0.03%未満】		1. 巻末資料 1 はあくまで評価基準を示したものであり、実際の機能保全計画策定に係る記入様式は、「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」（令和 6 年 4 月改訂、水産庁漁港漁場整備部）の第Ⅲ部に掲載している様式を活用する。 2. 増殖場（消波施設等及び中間育成施設）と養殖場（消波施設等及び区画施設）については、漁港施設の老朽化度の評価基準のなかから類似の施設の基準を準用する。参考までに「対象施設」に漁場施設の一部を（ ）書きで示した。 3. 鋼構造の施設に係る老朽化度の評価基準にある「欠陥面積率」は、ASTM-D610 を参考に定めた下図の評価基準による。 <table><tr><th>老朽化度</th><th>さび発生面積率 (ASTM-D610)</th></tr><tr><td>a 【欠陥面積率 10%以上】</td><td> 4 3 2 1 10% 16% 33% 50% </td></tr><tr><td>b 【欠陥面積率 0.3%以上 10%未満】</td><td> 7 6 5 0.3% 1% 3% </td></tr><tr><td>c 【欠陥面積率 0.03%以上 0.3%未満】</td><td> 9 8 0.03% 0.1% </td></tr><tr><td>d 【欠陥面積率 0.03%未満】</td><td></td></tr></table> 図-巻 1. 1 ASTM-D610 を参考に定めた欠陥面積率の判定基準	老朽化度	さび発生面積率 (ASTM-D610)	a 【欠陥面積率 10%以上】	4 3 2 1 10% 16% 33% 50%	b 【欠陥面積率 0.3%以上 10%未満】	7 6 5 0.3% 1% 3%	c 【欠陥面積率 0.03%以上 0.3%未満】	9 8 0.03% 0.1%	d 【欠陥面積率 0.03%未満】	
老朽化度	さび発生面積率 (ASTM-D610)																					
a 【欠損面積率 10%以上】	4 3 2 1 10% 16% 33% 50%																					
b 【欠損面積率 0.3%以上 10%未満】	7 6 5 0.3% 1% 3%																					
c 【欠損面積率 0.03%以上 0.3%未満】	9 8 0.03% 0.1%																					
d 【欠損面積率 0.03%未満】																						
老朽化度	さび発生面積率 (ASTM-D610)																					
a 【欠陥面積率 10%以上】	4 3 2 1 10% 16% 33% 50%																					
b 【欠陥面積率 0.3%以上 10%未満】	7 6 5 0.3% 1% 3%																					
c 【欠陥面積率 0.03%以上 0.3%未満】	9 8 0.03% 0.1%																					
d 【欠陥面積率 0.03%未満】																						

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-2

誤

○老朽化度の評価基準

※実際の簡易調査に当たっては、「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」（令和6年4月、水産庁漁港漁場整備部）第Ⅲ部にある所要の様式を活用する。

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準	
施設全体	移 動		目視（ <i>メジャー</i> 等による計測を含む、以下同じ） ・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。
				b	隣接スパンとの間に側壁厚程度（40～50cm）のずれがある。
				c	小規模な移動がある。
				d	老朽化なし。
	沈 下		目視 ・（目地ずれ）、段差	a	目視でも著しい沈下（1 m程度）が確認できる。
				b	隣接スパンとの間に数+cm程度の段差がある。
				c	隣接スパンとの間に数cm程度の段差がある。
				d	老朽化なし。
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
					大規模（10%以上）の欠損がある。
				b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。
中規模（5～10%未満）の欠損がある。					
c				幅1cm未満のひび割れがある。	
				小規模（5%未満）の欠損がある。	
d				老朽化なし。	
重力式防波堤（消波堤）	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。
				b1	複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。
					10%以上の範囲で鉄筋が露出している。
				b2	複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。
					10%未満の範囲で鉄筋が露出している。
				c	一方向に幅3mm程度のひび割れがある。
				局所的に鉄筋が露出している。	
					d
		コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
					大規模（10%以上）の欠損がある。
				b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。
					中規模（5～10%未満）の欠損がある。
				c	幅1cm未満のひび割れがある。
					小規模（5%未満）の欠損がある。
				d	老朽化なし。
	消波工	移動、散乱、沈下	目視 ・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長（1 スパン）に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上減少している。
				b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック 1 層未満）
				c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。
				d	老朽化なし。
		損傷、亀裂	目視 ・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。
				b	aとcの中間的な変状がある。
				c	欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。
				d	老朽化なし。

正

○老朽化度の評価基準

※実際の簡易調査に当たっては、「水産基盤施設機能保全計画策定の手引き」（令和6年4月、水産庁漁港漁場整備部）第Ⅲ部にある所要の様式を活用する。

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準	
施設全体	移 動		目視（ <i>メジャー</i> 等による計測を含む、以下同じ） ・水平移動量	a	本体の一部がマウンドから外れている。
				b	隣接スパンとの間に側壁厚程度（40～50cm）のずれがある。
				c	小規模な移動がある。
				d	老朽化なし。
	沈 下		目視 ・（目地ずれ）、段差	a	目視でも著しい沈下（1 m程度）が確認できる。
				b	隣接スパンとの間に数+cm程度の段差がある。
				c	隣接スパンとの間に数cm程度の段差がある。
				d	老朽化なし。
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a	防波堤の性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
					大規模（10%以上） な 欠損がある。
				b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。
中規模（5～10%未満） な 欠損がある。					
c				幅1cm未満のひび割れがある。	
				小規模（5%未満） な 欠損がある。	
d				老朽化なし。	
重力式防波堤（消波堤）	本体工（側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。
				b1	複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。
					10%以上の範囲で鉄筋が露出している。
				b2	複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。
					10%未満の範囲で鉄筋が露出している。
				c	一方向に幅3mm程度のひび割れがある。
				局所的に鉄筋が露出している。	
					d
		コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
					大規模（10%以上） な 欠損がある。
				b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。
					中規模（5～10%未満） な 欠損がある。
				c	幅1cm未満のひび割れがある。
					小規模（5%未満） な 欠損がある。
				d	老朽化なし。
	消波工	移動、散乱、沈下	目視 ・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長（1 スパン）に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上減少している。
				b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック 1 層未満）
				c	消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。
				d	老朽化なし。
		損傷、亀裂	目視 ・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。
				b	aとcの中間的な変状がある。
				c	欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。
				d	老朽化なし。

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-3

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準					
矢板 または 杭式 防波堤 (消波堤)	防波堤法線	凹凸、出入り	目視 ・移動量 ・沈下量	a	隣接する上部工との間に20cm以上の凹凸がある。				
					性能を損なうような法線のはらみ出しがある。				
				b	法線のはらみ出しがある。				
					隣接する上部工との間に10～20cm程度の凹凸がある。				
				c	上記以外の場合で、隣接する上部工との間に10cm未満の凹凸がある。				
	老朽化なし。								
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、剥離損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	防波堤の性能を損なうような損傷がある。				
					複数方向に幅3mm以上のひび割れがある。				
				b1	10%以上の範囲で鉄筋が露出している。				
					一方向に幅3mm以上のひび割れがある。				
				b2	10%未満の範囲で鉄筋が露出している。				
					幅3mm未満のひび割れがある。				
				c	局所的に鉄筋が露出している。				
					老朽化なし。				
	矢板・杭	鋼材の腐食、亀裂、損傷(防食工を施している場合)	目視 ・穴あきの有無 ・水面上の鋼材の腐食 ・表面の傷の状況 ・継手の腐食状況	a	腐食による開孔や変形、その他著しい損傷がある。				
					開孔箇所から裏理材が流出している兆候がある。				
				b1	L. W. L付近に多数の孔食がある。				
					全体的に発錆がある。				
				b2	L. W. L付近に数個の孔食がある。				
					部分的に発錆がある。				
		塗装の場合	目視 ・欠陥面積率 ^{注)}	a	欠陥面積率10%以上				
				b	欠陥面積率0. 3%以上10%未満				
				c	欠陥面積率0. 03%以上0. 3%未満				
				d	欠陥面積率0. 03%未満				
		被覆防食工	有機被覆、ベトナム被覆、モルタル被覆、金属被覆の場合	目視 ・鋼材の腐食、露出 ・被覆材の損傷 ・保護カバー等の状態	a	鋼材が露出し、錆が発生している。			
						被覆材に鋼材まで達するすり傷、あて傷、はがれ等の損傷が生じている。			
	b				保護カバー等に欠損がある。				
					被覆材に鋼材まで達していないすり傷、あて傷、はがれ等の損傷がある。				
	c				保護カバー等に損傷がある。				
					保護カバー等に損傷がある。				
	電気防食工					電位測定（電極ごとの防食管理電位） ・飽和甘こう-800mV ・海水塩化銀-800mV ・飽和硫酸銅-850mV	a	防食管理電位が維持されていない。	
							b	---	
		c	---						
		d	防食管理電位が維持されている。						
	消波工	移動、散乱、沈下	目視 ・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上減少している。				
					点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。(ブロック 1 層未満)				
				b	消波ブロックの一部が移動(散乱・沈下)している。				
					老朽化なし。				
		損傷、亀裂	目視 ・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。				
					aとcの中間的な変状がある。				
c				欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。					
				老朽化なし。					

注) 欠損面積率は、冒頭に示した図-Ⅲ. 1による。以下同じ。

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準						
矢板 または 杭式 防波堤 (消波堤)	防波堤法線	凹凸、出入り	目視 ・移動量 ・沈下量	a	隣接する上部工との間に20cm以上の凹凸がある。					
					性能を損なうような法線のはらみ出しがある。					
				b	法線のはらみ出しがある。					
					隣接する上部工との間に10～20cm程度の凹凸がある。					
				c	上記以外の場合で、隣接する上部工との間に10cm未満の凹凸がある。					
	老朽化なし。									
	上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、剥離損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	防波堤の性能を損なうような損傷がある。					
					複数方向に幅3mm以上のひび割れがある。					
				b1	10%以上の範囲で鉄筋が露出している。					
					一方向に幅3mm以上のひび割れがある。					
				b2	10%未満の範囲で鉄筋が露出している。					
					幅3mm未満のひび割れがある。					
				c	局所的に鉄筋が露出している。					
					老朽化なし。					
	矢板・杭	鋼材の腐食、亀裂、損傷(防食工を施している場合)	目視 ・穴あきの有無 ・水面上の鋼材の腐食 ・表面の傷の状況 ・継手の腐食状況	a	腐食による開孔や変形、その他著しい損傷がある。					
					開孔箇所から裏理材が流出している兆候がある。					
				b1	L. W. L付近に多数の孔食がある。					
					全体的に発錆がある。					
				b2	L. W. L付近に数個の孔食がある。					
					部分的に発錆がある。					
		塗装の場合	目視 ・欠陥面積率 ^{注)}	a	欠陥面積率10%以上					
				b	欠陥面積率0. 3%以上10%未満					
				c	欠陥面積率0. 03%以上0. 3%未満					
				d	欠陥面積率0. 03%未満					
		被覆防食工	有機被覆、ベトナム被覆、モルタル被覆、金属被覆の場合	目視 ・鋼材の腐食、露出 ・被覆材の損傷 ・保護カバー等の状態	a	鋼材が露出し、錆が発生している。				
						被覆材に鋼材まで達するすり傷、あて傷、はがれ等の損傷が生じている。				
					b	保護カバー等に欠損がある。				
						被覆材に鋼材まで達していないすり傷、あて傷、はがれ等の損傷がある。				
					c	保護カバー等に損傷がある。				
						保護カバー等に損傷がある。				
					電気防食工		電位測定（電極ごとの防食管理電位） ・飽和甘こう-800mV ・海水塩化銀-800mV ・飽和硫酸銅-850mV	a	防食管理電位が維持されていない。	
								b	---	
		c	---							
		d	防食管理電位が維持されている。							
	消波工	移動、散乱、沈下	目視 ・消波工の天端、法面、法肩等の変形 ・消波ブロックの移動や散乱	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック 1 層分以上減少している。					
					点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。(ブロック 1 層未満)					
				b	消波ブロックの一部が移動(散乱・沈下)している。					
					老朽化なし。					
		損傷、亀裂	目視 ・消波ブロックの損傷、亀裂 ・欠損ブロックの個数	a	欠損しているブロックが1/4以上ある。					
					aとcの中間的な変状がある。					
c				欠損や部分的な変状があるブロックが複数個ある。						
				老朽化なし。						

注) 欠陥面積率は、冒頭に示した図-巻1. 1による。以下同じ。

注) 欠陥面積率は、冒頭に示した図-Ⅲ. 1による。以下同じ。

注) 欠陥面積率は、冒頭に示した図-巻1. 1による。以下同じ。

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-5

誤

正

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-7

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準				
重力式係船岸	岸壁法線	凹凸、出入り	目視 ・移動量	a		隣接するスパンとの間に20cm以上の凹凸がある。		
				b		隣接するスパンとの間に10～20cm程度の凹凸がある。		
				c		上記以外の場合で、隣接するスパンとの間に10cm未満の凹凸がある。		
				d		老朽化なし。		
	エプロン (通常の場合)	沈下、陥没	目視	a		重力式本体背後の土砂が流出している。		
						重力式本体背後のエプロンが陥没している。		
						車両の通行や歩行に重大な支障がある。		
				b		重力式本体目地(上部工含む)に顕著な開き、ずれがある。		
						エプロンに3cm以上の沈下(段差)がある。		
						エプロンと後背地の間に30cm以上の沈下(段差)がある。		
				c		重力式本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある。		
						エプロンに3cm未満の沈下(段差)がある。		
						エプロンと後背地の間に30cm未満の沈下(段差)がある。		
		d		老朽化なし。				
		コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、損傷	a		コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。		
						車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。		
				b		コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。		
					c		若干のひび割れが見られる。	
				d		老朽化なし。		
				上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	
	b1							複数方向に幅3mm以上のひび割れがある。
			10%以上の範囲で鉄筋が露出している。					
	b2		一方向に幅3mm以上のひび割れがある。					
			10%未満の範囲で鉄筋が露出している。					
	c		幅3mm未満のひび割れがある。					
			局所的に鉄筋が露出している。					
	d		老朽化なし。					
	本体工 (側壁、スリット部)	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。		
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。		
						10%以上の範囲で鉄筋が露出している。		
						複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
				b2		10%未満の範囲で鉄筋が露出している。		
						一方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
				c		局所的に鉄筋が露出している。		
					d		老朽化なし。	
		コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		
				b1		部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。		
						大規模（10%以上）の欠損がある。		
				b2		幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。		
						中規模（5～10%未満）の欠損がある。		
				c		幅1cm未満のひび割れがある。		
						小規模（5%未満）の欠損がある。		
				d		老朽化なし。		

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準				
重力式係船岸	岸壁法線	凹凸、出入り	目視 ・移動量	a		隣接するスパンとの間に20cm以上の凹凸がある。		
				b		隣接するスパンとの間に10～20cm程度の凹凸がある。		
				c		上記以外の場合で、隣接するスパンとの間に10cm未満の凹凸がある。		
				d		老朽化なし。		
	エプロン (通常の場合)	沈下、陥没	目視	a		重力式本体背後の土砂が流出している。		
						重力式本体背後のエプロンが陥没している。		
						車両の通行や歩行に重大な支障がある。		
				b		重力式本体目地(上部工含む)に顕著な開き、ずれがある。		
						エプロンに3cm以上の沈下(段差)がある。		
						エプロンと後背地の間に30cm以上の沈下(段差)がある。		
				c		重力式本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある。		
						エプロンに3cm未満の沈下(段差)がある。		
						エプロンと後背地の間に30cm未満の沈下(段差)がある。		
		d		老朽化なし。				
		コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷	目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、損傷	a		コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。		
						車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。		
				b		コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。		
					c		若干のひび割れが見られる。	
				d		老朽化なし。		
				上部工	コンクリートの劣化、損傷	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	
	b1							複数方向に幅3mm以上のひび割れがある。
			10%以上の範囲で鉄筋が露出している。					
	b2		一方向に幅3mm以上のひび割れがある。					
			10%未満の範囲で鉄筋が露出している。					
	c		幅3mm未満のひび割れがある。					
			局所的に鉄筋が露出している。					
	d		老朽化なし。					
	本体工 (側壁、スリット部)	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。		
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。		
						10%以上の範囲で鉄筋が露出している。		
						複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
				b2		10%未満の範囲で鉄筋が露出している。		
						一方向に幅3mm程度のひび割れがある。		
				c		局所的に鉄筋が露出している。		
					d		老朽化なし。	
		コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	目視 ・ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・老朽化の兆候	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		
				b1		部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。		
						大規模（10%以上） な 欠損がある。		
				b2		幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。		
						中規模（5～10%未満） な 欠損がある。		
				c		幅1cm未満のひび割れがある。		
						小規模（5%未満） な 欠損がある。		
				d		老朽化なし。		

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-11

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
浮体式 係船岸	エブロン	コンクリートまたはアスファルトの 劣化、損傷	目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、 凸凹、段差	a	コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。	
					アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。	
				b	車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。	
					コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。	
				c	アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。	
					d	若干のひび割れが見られる。
				d	老朽化なし。	
					a	ひび割れ、亀裂、損傷による浸水が見られる。
					b	----
					c	----
	d	老朽化なし。				
		ボンツーン 内部	本体の亀裂、損傷	目視 ・浸水状況	a	腐食による開孔や変形、その他著しい損傷がある。
						L.W.L付近に多数の孔食がある。
					b1	全体的に発錆がある。
	b2					L.W.L付近に数個の孔食がある。
	c				部分的に発錆がある。	
	d				付着物は見られるが、発錆、開孔、損傷は見られない。	
	a				欠陥面積率10%以上	
					b	欠陥面積率0.3%以上10%未満
					c	欠陥面積率0.03%以上0.3%未満
					d	欠陥面積率0.03%未満
	被覆防食工	塗装の場合	目視 ・欠陥面積率	a	鋼材が露出し、錆が発生している。	
					b	被覆材に鋼材まで達するすり傷、あて傷、はがれ等の損傷が生じている。
		保護カバー等に欠損がある。				
		有機被覆、 ペトロラム被覆、 モルタル被覆、 金属被覆の場合			目視 ・鋼材の腐食、露出 ・被覆材の損傷 ・保護カバー等の状態	c
			保護カバー等に損傷がある。			
			d	老朽化なし。		
				a		防食管理電位が維持されていない。
			b	----		
			c	----		
		d	防食管理電位が維持されている。			
	<鋼製の場合> 電気防食工	ボンツーン外部 (鋼製、RC/PC製)	電位測定（電極ごとの防食管理電位） ・飽和甘こう-800mV ・海水塩化銀-800mV ・飽和硫酸銅-850mV	a	幅3mm以上の鉄筋に沿ったひび割れがある。	
					かぶりの剥離がある。	
					錆汁が広範囲に発生している。	
					貫通ひび割れにより、沈降するおそれがある。	
		b1	幅2～3mm未満の鉄筋に沿ったひび割れがある。			
			錆汁が部分的に発生している。			
			b2	幅2mm未満の鉄筋に沿ったひび割れがある。		
				軽微なひび割れがある。		
			c	錆汁が点状に発生している。		
d			老朽化なし。			
コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)		目視 ・ひび割れの発生 方向 ・ひび割れの本数、長さ と幅 ・かぶりの剥離状況 ・錆汁の発生状況 ・鉄筋の腐食状況	a	ひび割れがある。		
				錆汁がある。		
			b	----		
			c	----		
d		老朽化なし。				
コンクリートの劣化、損傷 (PCの場合)		目視 ・ひび割れの発生状況 ・錆汁の発生状況	a	ひび割れがある。		
				錆汁がある。		
			b	----		
			c	----		
d		老朽化なし。				
ローラー部	異常音の有無	a	ローラー部から異常音が出ている。			
			b	----		
			c	----		
			d	ローラー部からの異常音はない。		
係留杭・係留チェーン	磨耗、塗装、腐食	目視 ・係留杭の状態、係留チェーンの破断	a	係留杭に変形、著しい磨耗、開孔がある。		
				係留チェーンに著しい磨耗がある。		
			b	係留杭に軽微な磨耗や孔食がある。		
				被覆材に亀裂や剥離が全体的にある。		
	c	被覆材に軽微な損傷が見られる。				
	d	老朽化なし。				
	連絡橋・渡橋	安定性、損傷、腐食	目視 ・移動の安定性 ・錆、傷の有無 ・塗装	a	連絡橋が不安定でボンツーンへの移動が困難である。	
					欠陥面積率10%以上	
b				欠陥面積率0.3%以上10%未満		
c				欠陥面積率0.03%以上0.3%未満		
d	欠陥面積率0.03%未満					

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
浮体式 係船岸	エブロン	コンクリートまたはアスファルトの 劣化、損傷	目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、 凸凹、段差	a	コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。	
					アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。	
				b	車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。	
					コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。	
				c	アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。	
					d	若干のひび割れが見られる。
				d	老朽化なし。	
					a	ひび割れ、亀裂、損傷による浸水が見られる。
					b	----
					c	----
	d	老朽化なし。				
		ボンツーン 内部	本体の亀裂、損傷	目視 ・浸水状況	a	腐食による開孔や変形、その他著しい損傷がある。
						L.W.L付近に多数の孔食がある。
					b1	全体的に発錆がある。
	b2					L.W.L付近に数個の孔食がある。
	c				部分的に発錆がある。	
	d				付着物は見られるが、発錆、開孔、損傷は見られない。	
	a				欠陥面積率10%以上	
					b	欠陥面積率0.3%以上10%未満
					c	欠陥面積率0.03%以上0.3%未満
					d	欠陥面積率0.03%未満
	被覆防食工	塗装の場合	目視 ・欠陥面積率	a	鋼材が露出し、錆が発生している。	
					b	被覆材に鋼材まで達するすり傷、あて傷、はがれ等の損傷が生じている。
		保護カバー等に欠損がある。				
		有機被覆、 ペトロラム被覆、 モルタル被覆、 金属被覆の場合			目視 ・鋼材の腐食、露出 ・被覆材の損傷 ・保護カバー等の状態	c
			保護カバー等に損傷がある。			
			d	老朽化なし。		
				a		防食管理電位が維持されていない。
			b	----		
			c	----		
		d	防食管理電位が維持されている。			
	<鋼製の場合> 電気防食工	ボンツーン外部 (鋼製、RC/PC製)	電位測定（電極ごとの防食管理電位） ・飽和甘こう-800mV ・海水塩化銀-800mV ・飽和硫酸銅-850mV	a	幅3mm以上の鉄筋に沿ったひび割れがある。	
					かぶりの剥離がある。	
					錆汁が広範囲に発生している。	
					貫通ひび割れにより、沈降するおそれがある。	
		b1	幅2～3mm未満の鉄筋に沿ったひび割れがある。			
			錆汁が部分的に発生している。			
			b2	幅2mm未満の鉄筋に沿ったひび割れがある。		
				軽微なひび割れがある。		
			c	錆汁が点状に発生している。		
d			老朽化なし。			
コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)		目視 ・ひび割れの発生 方向 ・ひび割れの本数、長さ と幅 ・かぶりの剥離状況 ・錆汁の発生状況 ・鉄筋の腐食状況	a	ひび割れがある。		
				錆汁がある。		
			b	----		
			c	----		
d		老朽化なし。				
コンクリートの劣化、損傷 (PCの場合)		目視 ・ひび割れの発生状況 ・錆汁の発生状況	a	ひび割れがある。		
				錆汁がある。		
			b	----		
			c	----		
d		老朽化なし。				
ローラー部	異常音の有無	a	ローラー部から異常音が出ている。			
			b	----		
			c	----		
			d	ローラー部からの異常音はない。		
係留杭・係留チェーン	磨耗、塗装、腐食	目視 ・係留杭の状態、係留チェーンの破断	a	係留杭に変形、著しい磨耗、開孔がある。		
				係留チェーンに著しい磨耗がある。		
			b	係留杭に軽微な磨耗や孔食がある。		
				被覆材に亀裂や剥離が全体的にある。		
	c	被覆材に軽微な損傷が見られる。				
	d	老朽化なし。				
	連絡橋・渡橋	安定性、損傷、腐食	目視 ・移動の安定性 ・錆、傷の有無 ・塗装	a	連絡橋が不安定でボンツーンへの移動が困難である。	
					欠陥面積率10%以上	
b				欠陥面積率0.3%以上10%未満		
c				欠陥面積率0.03%以上0.3%未満		
d	欠陥面積率0.03%未満					

ページ番号

巻末資料 1
p. 巻末 1-12

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準				
船揚場	船置部、斜路部	凹凸、出入り	目視 ・移動量	a	50mm以上の凹凸がある。			
				b	20～50mm未満の凹凸がある。			
				c	20mm未満の凹凸がある。			
				d	老朽化なし。			
		沈下、陥没	目視 ・移動、沈下（段差）、陥没	a	斜路部本体の土砂等が流出している。			
					斜路部本体が陥没している。			
					車両の通行や歩行に重大な支障がある。			
				b	斜路本体目地に顕著な開き、ずれがある。			
					斜路部に3cm以上の沈下(段差)がある。			
					斜路部と船置部の間に30cm以上の沈下(段差)がある。			
				c	斜路部本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある。			
					斜路部に3cm未満の沈下(段差)がある。			
					斜路部と船置部の間に30cm未満の沈下(段差)がある。			
	d			老朽化なし。				
	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷			目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、損傷	a	コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。		
		b	車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。					
			コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。					
			アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。					
		c	若干のひび割れが見られる。					
		d	老朽化なし。					
		前面壁	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）		目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	
	b1			複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。 10%以上の範囲で鉄筋が露出している。				
				複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。 10%未満の範囲で鉄筋が露出している。				
	c			一方向に幅3mm程度のひび割れがある。 局所的に鉄筋が露出している。				
	d			老朽化なし。				
	コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）			目視 ・ひび割れ、剥離損傷、欠損 ・老朽化の兆候		a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	
						b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。 大規模（10%以上）の欠損がある。	
							幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。 中規模（5～10%未満）の欠損がある。	
			b2		幅1cm未満のひび割れがある。			
					小規模（5%未満）の欠損がある。			
			d		老朽化なし。			

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準				
船揚場	船置部、斜路部	凹凸、出入り	目視 ・移動量	a	50mm以上の凹凸がある。			
				b	20～50mm未満の凹凸がある。			
				c	20mm未満の凹凸がある。			
				d	老朽化なし。			
		沈下、陥没	目視 ・移動、沈下（段差）、陥没	a	斜路部本体の土砂等が流出している。			
					斜路部本体が陥没している。			
					車両の通行や歩行に重大な支障がある。			
					斜路本体目地に顕著な開き、ずれがある。			
				b	斜路部に3cm以上の沈下(段差)がある。			
					斜路部と船置部の間に30cm以上の沈下(段差)がある。			
					斜路部本体目地(上部工含む)に軽微な開き、ずれがある。			
				c	斜路部に3cm未満の沈下(段差)がある。			
					斜路部と船置部の間に30cm未満の沈下(段差)がある。			
	d				老朽化なし。			
	コンクリートまたはアスファルトの劣化、損傷			目視 ・コンクリートまたはアスファルトのひび割れ、損傷	a	コンクリート舗装でひび割れ度が2m/㎡以上である。		
						アスファルト舗装でひび割れ率が30%以上である。		
		b	車両の通行や歩行に支障があるひび割れや損傷が見られる。					
			コンクリート舗装でひび割れ度が0.5～2m/㎡である。					
			アスファルト舗装でひび割れ率が20～30%である。					
		c	若干のひび割れが見られる。					
		d	老朽化なし。					
		前面壁	コンクリートの劣化、損傷（RCの場合）		目視 ・ひび割れ、剥離、損傷 ・鉄筋露出 ・老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	
	b1			複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。 10%以上の範囲で鉄筋が露出している。				
				複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。 10%未満の範囲で鉄筋が露出している。				
	c			一方向に幅3mm程度のひび割れがある。 局所的に鉄筋が露出している。				
	d			老朽化なし。				
	コンクリートの劣化、損傷（無筋の場合）			目視 ・ひび割れ、剥離損傷、欠損 ・老朽化の兆候		a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。	
						b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。 大規模（10%以上） な 欠損がある。	
							幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。 中規模（5～10%未満） な 欠損がある。	
			b2		幅1cm未満のひび割れがある。			
					小規模（5%未満） な 欠損がある。			
			d		老朽化なし。			

ページ番号

巻末資料 2
p. 巻末 2-1

誤

○潜水目視調査に係る老朽化度の評価基準（参考）

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準					
重力式防波堤 (消波堤)	本体工 （側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・ 鉄筋露出 ・ 老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。			
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。			
						10%以上の範囲で鉄筋が露出している。			
				b2		複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
						10%未満の範囲で鉄筋が露出している。			
				c		一方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
						局所的に鉄筋が露出している。			
				d		老朽化なし。			
				コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		
		b1			部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。				
					大規模（10%以上）の欠損がある。				
		b2			幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。				
					中規模（5～10%未満）の欠損がある。				
					幅1cm未満のひび割れがある。				
					小規模（5%未満）の欠損がある。				
		d			老朽化なし。				
		海底地盤	洗掘、堆積		潜水調査 ・ 海底面の起伏	a		捨石マウンドの法尻前面で深さ1m以上の洗掘がある。	
							洗掘に伴い、マウンド等や堤体への影響が見られる。		
				洗掘防止マットが損失している。又は、しわ寄せ状態になっている。					
	b					捨石マウンドの法尻前面深さ0.5m以上1m未満の洗掘がある。			
						洗掘防止マットが50%程度に亘り損傷している。			
	c					深さ0.5m未満の洗掘又は堆積がある。			
						洗掘防止マットが10%程度に損傷している。			
				d			老朽化なし。		
	被覆工			移動、散乱、沈下		潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 被覆石や被覆ブロックの移動や散乱状況	a		被災率5%以上の移動・散乱又は沈下がある。
							b		被災率1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある。
							c		被災率1%未満の移動・散乱又は沈下がある。
							d		老朽化なし。
	根固工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 根固ブロックの移動や散乱状況	a		点検単位長の50%以上の広範囲で移動・散乱又は沈下がある。			
				b		点検単位長の10～50%の範囲で移動・散乱がある。			
				c		点検単位長の10%未満の範囲で移動・散乱が見られる。			
				d		老朽化なし。			
	消波工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 消波ブロックの移動や散乱状況	a		点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上、減少している。			
				b		点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）			
				c		消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。			
				d		老朽化なし。			

注 1）洗掘防止マットは、露出して見えている範囲での損傷を対象とする。
注 2）被災率は、該当する範囲において被災した被覆工の個数の全体個数に対する割合とする。
注 3）根固工の点検単位長（スパン長）は、大きくして（施設延長）評価することにより。

正

○潜水目視調査に係る老朽化度の評価基準（参考）

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準					
重力式防波堤 (消波堤)	本体工 （側壁、スリット部）	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・ 鉄筋露出 ・ 老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。			
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。			
						10%以上の範囲で鉄筋が露出している。			
				b2		複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
						10%未満の範囲で鉄筋が露出している。			
				c		一方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
						局所的に鉄筋が露出している。			
				d		老朽化なし。			
				コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。		
		b1			部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。				
					大規模（10%以上） な 欠損がある。				
		b2			幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。				
					中規模（5～10%未満） な 欠損がある。				
					幅1cm未満のひび割れがある。				
					小規模（5%未満） な 欠損がある。				
		d			老朽化なし。				
		海底地盤	洗掘、堆積		潜水調査 ・ 海底面の起伏	a		捨石マウンドの法尻前面で深さ1m以上の洗掘がある。	
							洗掘に伴い、マウンド等や堤体への影響が見られる。		
				洗掘防止マットが損失している。又は、しわ寄せ状態になっている。					
	b					捨石マウンドの法尻前面深さ0.5m以上1m未満の洗掘がある。			
						洗掘防止マットが50%程度に亘り損傷している。			
	c					深さ0.5m未満の洗掘又は堆積がある。			
						洗掘防止マットが10%程度に損傷している。			
				d			老朽化なし。		
	被覆工			移動、散乱、沈下		潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 被覆石や被覆ブロックの移動や散乱状況	a		被災率5%以上の移動・散乱又は沈下がある。
							b		被災率1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある。
							c		被災率1%未満の移動・散乱又は沈下がある。
							d		老朽化なし。
	根固工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 根固ブロックの移動や散乱状況	a		点検単位長の50%以上の広範囲で移動・散乱又は沈下がある。			
				b		点検単位長の10～50%の範囲で移動・散乱がある。			
				c		点検単位長の10%未満の範囲で移動・散乱が見られる。			
				d		老朽化なし。			
	消波工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 消波ブロックの移動や散乱状況	a		点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上、減少している。			
				b		点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）			
				c		消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。			
				d		老朽化なし。			

注 1）洗掘防止マットは、露出して見えている範囲での損傷を対象とする。
注 2）被災率は、該当する範囲において被災した被覆工の個数の全体個数に対する割合とする。
注 3）根固工の点検単位長（スパン長）は、大きくして（施設延長）評価することにより。

ページ番号

巻末資料 2
p. 巻末 2-4

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
重力式 護岸 (航路護岸 泊地護岸 区画施設)	本体工	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	
				b1	複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。	
					10%以上の範囲で鉄筋が露出している。	
				b2	複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。	
					10%未満の範囲で鉄筋が露出している。	
		c	一方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
			局所的に鉄筋が露出している。			
			d	老朽化なし。		
			コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
					b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
	大規模（10%以上）の欠損がある。					
	b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。				
		中規模（5～10%未満）の欠損がある。				
	c	幅1cm未満のひび割れがある。				
		d	老朽化なし。			
		海底地盤	洗掘、堆積	潜水調査 ・ 海底面の起伏	a	捨石マウンドの法尻前面で深さ1m以上の洗掘がある。
					洗掘に伴い、マウンド等や堤体への影響が見られる。	
	b				捨石マウンドの法尻前面深さ0.5m以上1m未満の洗掘がある。	
	c				深さ0.5m未満の洗掘又は堆積がある。	
	d	老朽化なし。				
		被覆工	移動、散乱	潜水調査 ・ 被覆工等の移動・散乱	a	被災率5%以上の移動・散乱又は沈下がある。
					b	被災率1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある。
					c	被災率1%未満の移動・散乱又は沈下がある。
	d				老朽化なし。	
	根固工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 根固ブロックの移動や散乱状況	a	点検単位長の50%以上の広範囲で移動・散乱又は沈下がある。	
				b	点検単位長の10～50%の範囲で移動・散乱がある。	
				c	点検単位長の10%未満の範囲で移動・散乱が見られる。	
				d	老朽化なし。	
	消波工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 消波ブロックの移動や散乱状況	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上、減少している。	
				b	点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）	
c				消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。		
d				老朽化なし。		

注 1）被災率は、該当する範囲において被災した被覆工の個数の全体個数に対する割合とする。

注 2）根固工の点検単位長（スパン長）は、大きくして（施設延長）評価することにより。

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
重力式 護岸 (航路護岸 泊地護岸 区画施設)	本体工	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a	中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。	
				b1	複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。	
					10%以上の範囲で鉄筋が露出している。	
				b2	複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。	
					10%未満の範囲で鉄筋が露出している。	
		c	一方向に幅3mm程度のひび割れがある。			
			局所的に鉄筋が露出している。			
			d	老朽化なし。		
			コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a	性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
					b1	部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。
	大規模（10%以上） な 欠損がある。					
	b2	幅1cm以上のひび割れがあるが、部材背面までは達していない。				
		中規模（5～10%未満） な 欠損がある。				
	c	幅1cm未満のひび割れがある。				
		小規模（5%未満）な 欠損がある。				
		d	老朽化なし。			
		海底地盤	洗掘、堆積	潜水調査 ・ 海底面の起伏	a	捨石マウンドの法尻前面で深さ1m以上の洗掘がある。
	洗掘に伴い、マウンド等や堤体への影響が見られる。					
	b				捨石マウンドの法尻前面深さ0.5m以上1m未満の洗掘がある。	
	c				深さ0.5m未満の洗掘又は堆積がある。	
	d	老朽化なし。				
		被覆工	移動、散乱	潜水調査 ・ 被覆工等の移動・散乱	a	被災率5%以上の移動・散乱又は沈下がある。
					b	被災率1～5%未満の移動・散乱又は沈下がある。
					c	被災率1%未満の移動・散乱又は沈下がある。
	d				老朽化なし。	
	根固工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 根固ブロックの移動や散乱状況	a	点検単位長の50%以上の広範囲で移動・散乱又は沈下がある。	
				b	点検単位長の10～50%の範囲で移動・散乱がある。	
				c	点検単位長の10%未満の範囲で移動・散乱が見られる。	
				d	老朽化なし。	
	消波工	移動、散乱、沈下	潜水調査 ・ 法面、法肩、法尻の変形 ・ 消波ブロックの移動や散乱状況	a	点検単位長に亘り、消波工断面がブロック1層分以上、減少している。	
b				点検単位長に亘り、消波工断面が減少している。（ブロック1層未満）		
c				消波ブロックの一部が移動（散乱・沈下）している。		
d				老朽化なし。		

注 1）被災率は、該当する範囲において被災した被覆工の個数の全体個数に対する割合とする。

注 2）根固工の点検単位長（スパン長）は、大きくして（施設延長）評価することにより。

ページ番号

巻末資料 2
p. 巻末 2-9

誤

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
船揚場	前面壁	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷 ・ 鉄筋露出 ・ 老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。 10%以上の範囲で鉄筋が露出している。
					b2	
				c		一方向に幅3mm程度のひび割れがある。 局所的に鉄筋が露出している。
					d	
		コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1		部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。 大規模（10%以上）の欠損がある。
					b2	
				c		幅1cm未満のひび割れがある。 小規模（5%未満）の欠損がある。
					d	
				海底地盤	洗掘、堆積	潜水調査 ・ 海底面の起伏
	b		捨石マウンドの法尻前面深さ0. 5m以上1m未満の洗掘がある。			
	c		深さ0. 5m未満の洗掘又は堆積がある。			
	d		老朽化なし。			

正

対象施設	調査項目		調査方法	老朽化度の評価基準		
船揚場	前面壁	コンクリートの劣化、損傷 (RCの場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離、損傷 ・ 鉄筋露出 ・ 老朽化の兆候	a		中詰材等が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。
				b1		複数方向に幅3mm程度より大きいひび割れがある。 10%以上の範囲で鉄筋が露出している。
					b2	
				c		一方向に幅3mm程度のひび割れがある。 局所的に鉄筋が露出している。
					d	
		コンクリートの劣化、損傷 (無筋の場合)	潜水調査 ・ ひび割れ、剥離損傷、欠損 ・ 老朽化の兆候	a		性能に影響を及ぼす程度の欠損がある。
				b1		部材背面に達する幅1cm以上のひび割れがある。 大規模（10%以上） な 欠損がある。
					b2	
				c		幅1cm未満のひび割れがある。 小規模（5%未満） な 欠損がある。
					d	
				海底地盤	洗掘、堆積	潜水調査 ・ 海底面の起伏
	b		捨石マウンドの法尻前面深さ0. 5m以上1m未満の洗掘がある。			
	c		深さ0. 5m未満の洗掘又は堆積がある。			
	d		老朽化なし。			